

**宍粟市高齢者福祉計画及び第9期宍粟市介護保険事業計画策定にかかる
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【調査結果 概要版】**

令和5年6月
宍粟市

目次

調査の概要.....	1
調査結果からの考察.....	2
1 高齢者のつながりづくりを進めるための地域包括ケア	2
2 介護予防の取組について	2
3 高齢者の社会参加について	3
4 地域での支え合いについて	3
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（考察からの抜粋）	6
基本調査事項	6
1 高齢者のつながりづくりを進めるための地域包括ケア関係..	7
(1) 相談支援体制の強化と情報の共有	7
【問 48】 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(MA)	7
【問 35】 現在、かかりつけ医はありますか(SA)	8
【問 36】 かかりつけ医への相談はできていますか(SA)	9
【問 37】 現在、かかりつけ歯科医はありますか(SA)	9
【問 38】 現在、かかりつけ薬局はありますか(SA)	10
(2) 地域づくり活動等への参加促進	12
【問 40】⑤ 「いきいき百歳体操教室」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	12
【問 41】 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(SA)	13
【問 42】 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか(SA)	14
2 介護予防の取組について 関係.....	15
【問 2】 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(SA) ..	15
【問 34】 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(MA)	15
健康リスク別判定 運動器の機能低下(SA)	17

健康リスク別判定 転倒リスク (SA)	19
3 高齢者の社会参加について 関係.....	21
【問 40】① 「ボランティアのグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	21
【問 40】② 「スポーツ関係のグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	21
【問 40】③ 「趣味関係のグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	22
【問 40】④ 「学習・教養サークル」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	22
【問 40】⑥ 「老人クラブ活動」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	23
【問 40】⑦ 「自治会活動」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	23
【問 40】⑧ 「収入のある仕事」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)	24
【問 47】 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(SA)	24
【問 10】 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(SA)	26
【問 12】 外出を控えている理由は、次のどれですか(MA)	27
【問 13】 外出する際の移動手段は何ですか(MA)	28
健康リスク別判定 閉じこもり傾向 (SA)	30
4 地域での支え合いについて 関係.....	30
【問 51】 あなたの地域の中で見守りや声かけがありますか(SA)	30
【問 52】 誰が見守りや声かけを行っていますか(MA)	34
【問 56】 問 53 の“支え合い”が地域の中であれば、支援者側として(SA) ...	34
(1) 山崎圏域	35
(2) 一宮圏域	36
(3) 波賀圏域	37
(4) 千種圏域	39

調査の概要

(1) 調査の目的

宍粟市では、高齢者の健康づくり・介護予防の推進及び介護保険事業の円滑な実施を目的に、令和6年度から令和8年度までを期間とする「宍粟市高齢者福祉計画及び第9期宍粟市介護保険事業計画」の策定を進めています。

この計画を策定するにあたり、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、地域の抱える課題を特定し、今後の介護予防等の取り組みを検討するため、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施しました。

(2) 調査の実施方法と配布・回収状況

ア 調査地域：宍粟市内全域

イ 調査対象者：宍粟市にお住まいの65歳以上の方

(一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者)

ウ 調査項目：国が示す調査票のうち、必須項目(35問)、オプション項目(29問中10問)、市独自の調査項目(19問)

エ 抽出方法：層化無作為抽出法による抽出(日常生活圏域等による区分による抽出)

オ 調査期間：令和4年12月9日～令和5年1月10日

カ 調査方法：無記名式で、郵送配布・郵送回収又は電子回答

キ 回収状況：配布数2,800、有効回収数1,955、回収率69.8%

ク 抽出数と回収数

区分 圏域	調査対象者数 令和4年11月1 日現在	抽出人数	抽出割合	回収人数	回収率
山崎圏域	6,338	700	11.0%	471	67.3%
一宮圏域	2,470	700	28.3%	504	72.0%
波賀圏域	1,175	700	59.6%	520	74.3%
千種圏域	970	700	72.2%	460	65.7%

(3) 報告書の見方について

ア 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。

イ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

ウ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

エ 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)、「SA (Single Answer)」は、単一回答、「MA (Multiple Answer)」は、複数回答(選択)、「数量」は、数量回答を表しています。

調査結果からの考察

1 高齢者のつながりづくりを進めるための地域包括ケア

(1) 相談支援体制の強化と情報の共有

家族や友人・知人以外で相談する相手を尋ねた問（P7）についてみると、「そのような人はいない」が31.8%と最も高く、次に「医師・歯科医師・看護師・薬剤師」などの医療従事者が23.4%となっています。

一方で、「地域包括支援センター・市役所」は7.2%と低く、民生委員・児童委員のほぼ半分となっています。

また、医療機関について、かかりつけ医があると答えた人（P8）が87.2%を占めており、そのうち92.5%は相談などができている（P9）としています。

このことから、かかりつけ医は心身の状態から相談先となりやすく、民生委員・児童委員は地域の身近な相談先となっていることがうかがえます。

そのため、在宅生活の継続を図るためには、医療機関や民生委員・児童委員などと地域包括支援センター・市役所が連携することが重要であると考えます。

(2) 地域づくり活動等への参加促進

地域の高齢者同士のつながりや地域活動をみると、「いきいき百歳体操教室」などの通いの場へ参加している人は合計で20%程度（P12）となっています。

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいかの問（P13）に「是非参加したい・参加してもよい」と回答した人は55.6%と関心は高いものの、参加につながっていない結果となっています。

一方で、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として「是非参加したい・参加してもよい」（P14）と回答した人は32.2%となっており、参加への関心と比べて低くなっています。

このことから、参加には関心があるものの、参加につながっていない要因の一つとして、参加することで企画・運営する世話役になるかもしれないという不安があるものと推測されます。

そのため、持続可能な高齢者同士のつながりや地域活動を推進するためには、企画・運営する世話役の負担が少なく、参加に関心がある人が気軽に参加することができる場であることが重要であると考えます。

2 介護予防の取組について

日常生活で介護・介助が必要かの問（P15）に対して、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」を合わせると17%となっています。

現在治療中、または後遺症のある病気の間（P15）に対して、性別を問わず、生活習慣病とされる「高血圧」が最も高くなっています（全体の約半数）。

生活習慣病とされる病気の性別ごとの特徴として、「高血圧」の次に男性では「糖尿病」（20.7%）が、女性では「高脂血症」（14.7%）が高くなっています（P16）。

生活習慣病が悪化したことで、心臓病や脳卒中を引き起こし、介護・介助が必要になるケースも多いことから、生活習慣病の予防（健康づくり）が重要であると考えます。

健康リスク別の集計をみると、運動器の機能が低下（いわゆるフレイル）している者が18.6%（P17）となっており、女性ではおおそ4人に一人（24.3%）が該当しています。特に運動器の

機能低下は、男女ともに 80 代以降に該当者が多くなっています。

また、転倒リスクについては 39.5% (P19) と約 4 割が該当しており、男性は 85 歳以上で大きく増加、女性は年齢が上がるに従って徐々に増加しています (P20)。

転倒による骨折は、介護・介助が必要となる主な原因の一つであり、運動器の機能低下を予防するフレイル予防が重要であると考えます。

これらのことから、「いきいき百歳体操教室」などの運動の機会の提供と早期からの参加を促進することで、介護予防(生活習慣病の予防(健康づくり))とフレイル予防を図ることが重要であると考えます。

3 高齢者の社会参加について

ボランティアや趣味等の地域活動に参加しているかの問 (P21~23) に、「不参加」と回答した割合が高くなっており、健康づくり・生きがいくくり等の場に参加していない人が多いことがうかがえます。

友人・知人に会う頻度について (P24, 25) は、「ほとんどない」が全体で 8.2%、85 歳以上で 14.1% となっており、加齢とともに隣近所との付き合いや地域社会での交流が減少しています。

外出機会について (P26) は、「とても減っている」「減っている」が合計で 30.4% となっており、特に女性の減少の割合が多くなっています。

外出を控えている理由 (P27) では「足腰の痛み」が 36.1% で最も高く、次いで「交通手段がない(17.2%)」、「外での楽しみがない(15.7%)」となっています。

主な外出手段 (P28) をみると「自動車 (自分で運転)」が 69.0% で突出して高く、特に男性では 84.9% となっています。次に「徒歩」が 24.9%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が 22.8%、「路線バス」が 7.3% となっており、外出手段が自分によるものの割合が多くなっています。

また、年齢別 (P29) でみると 85 歳以上であっても 26.0% (全体の約 4 分の 1) が自分で運転しています。

週 1 回以下しか外出しない「閉じこもり傾向」があると判定される回答は 30.4% (P30) となっています。

近年は新型コロナウイルス感染症の流行などにより、不要・不急の外出を控える傾向もあったことから、高齢者の外出の機会も減少したものとみられますが、外出をすることは地域社会とのふれあいや生きがい、健康づくりなどにつながることから、外出機会の回復などより一層の社会参加の促進が重要であると考えます。

一方で外出手段については、「自動車 (自分で運転)」の割合が各圏域ともに約 7 割 (P29) となっていることなどから、自分で自動車を運転しなくなっても地域活動などの外出機会や人との触れ合いの機会が失われないようにすることが重要であると考えます。

4 地域での支え合いについて

地域の中で見守りや声かけがあるかの問 (P30) には約半数が「ある」と回答しています。民生委員・児童委員などを中心に近所同士で実施されている状況となっており、住民同士の見守り・支え合いの意識が醸成されていることがうかがえます。加えて、支援者として活動すること

(P34) については「ぜひ支援したい」、「支援してもよい」を合せると 67.8% と約 3 分の 2 の人が支援に参加する意向を示しており、きっかけづくりにより大きな流れを生む可能性を秘めています。

また、地域特性もうかがえ、小地域での取組を考える視点も重要と考えられます。

(1) 山崎圏域

普段の生活で「何らかの介護を受けている (P35)」と回答した人の割合が他の圏域に比べて高くなっており、今後、地域における支え合いがより求められることが考えられます。一方で、「スポーツ関係のグループ (P35)」や「趣味関係のグループ (P36)」への参加頻度が他の圏域に比べて高くなっており、健康づくり・生きがいつくりの活動を通して地域の交流が生まれていることがうかがえます。

(2) 一宮圏域

「誰が見守りや声かけを行っていますか」の間 (P36) に対して、「近隣 (ご近所づきあい)」が波賀圏域と並んで活発です。また、地域の人が気軽に集まる場所として「公民館・集会所 (P36)」が他の圏域に比べて高くなっており、公民館・集会所を拠点とした地域交流が活発に行われていることがうかがえます。また、「収入のある仕事」への参加の間 (P37) に対して、週4日以上に参加割合が多い傾向がうかがえます。

(3) 波賀圏域

「誰が見守りや声かけを行っていますか」の間 (P37) に対して、「近隣 (ご近所づきあい)」が一宮圏域と並んで活発です。また、地域の人が気軽に集まる機会が「ある (P38)」と回答した割合が他の圏域に比べて高くなっており、公民館・集会所以外に近所の家で集まる割合も多い傾向 (P38) がみられ、日常的な交流の中で見守り・支え合いが行われていることがうかがえます。

(4) 千種圏域

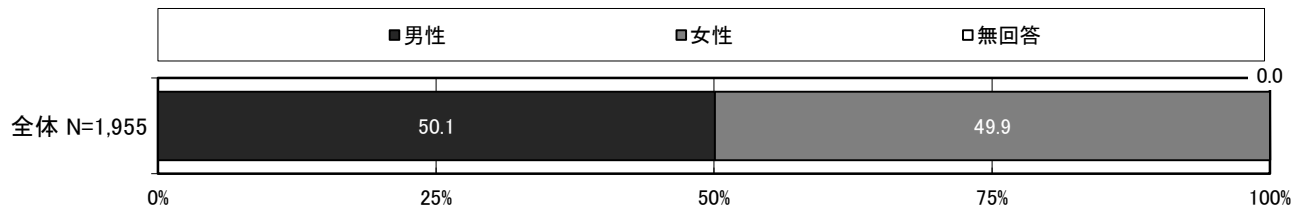
「あなたのご近所で日常生活の困りごと (ゴミ出しや買い物など) のお手伝いをする“支え合い”はありますか」の間 (P39) に「ある」と答えた人のうち、支援を受ける側として、「ぜひ支援を受けたい」(P39) と回答した割合が他の圏域に比べて高くなっております。支援を必要とする割合が高い一方で、支援を必要とする本人が助け合いや支え合いを受け入れやすい環境であることもうかがえます。また、「収入のある仕事」への参加の間 (P40) に対して、週4日以上に参加割合が多い傾向がうかがえます。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（考察からの抜粋）

基本調査事項

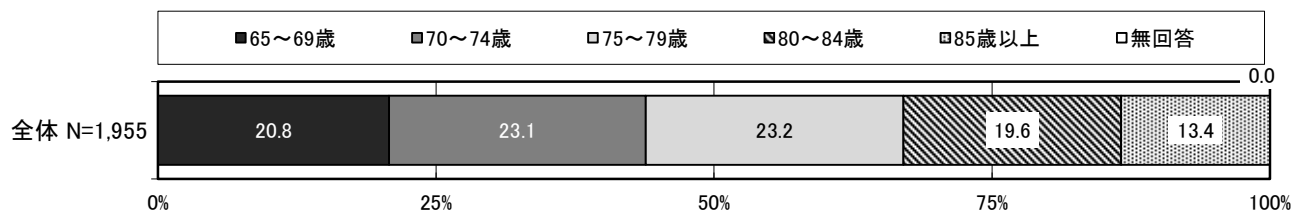
性別(SA)

「男性」が 50.1%、「女性」が 49.9%となっています。



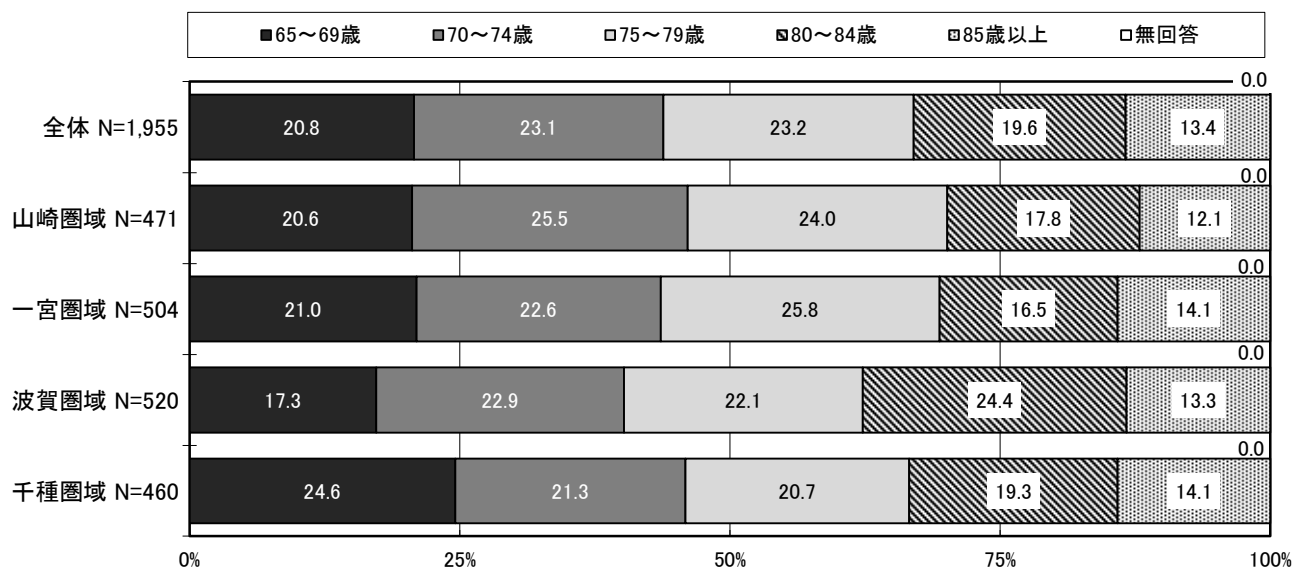
年齢

「75～79 歳」が 23.2%で最も高くなっています。次いで「70～74 歳」が 23.1%、「65～69 歳」が 20.8%が続いています。



《年齢》×《地区別》

『波賀圏域』では「85歳以上」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



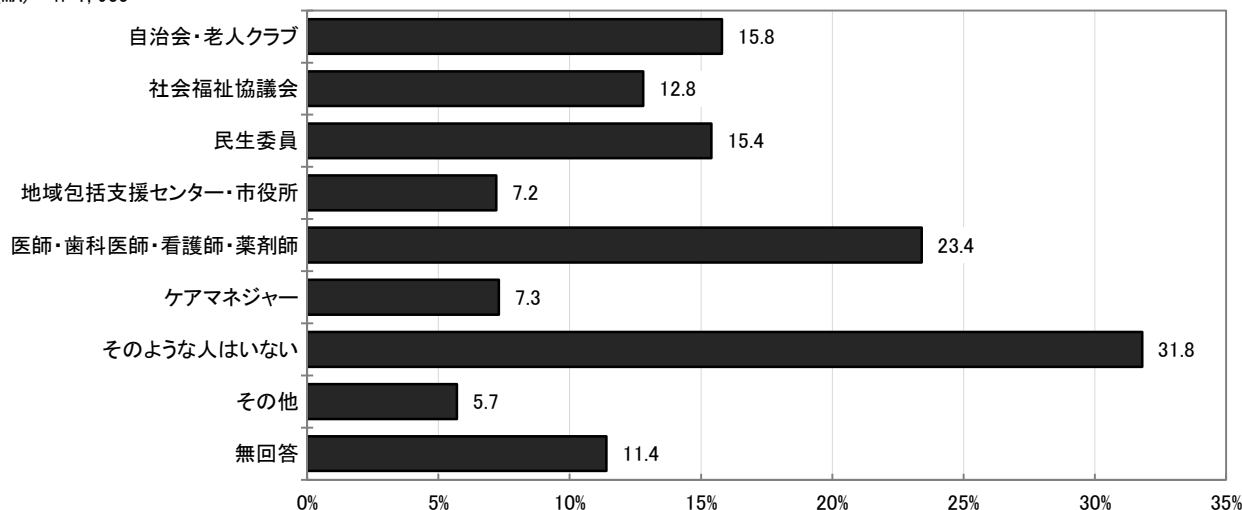
1 高齢者のつながりづくりを進めるための地域包括ケア 関係

(1) 相談支援体制の強化と情報の共有

【問 48】 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(MA)

「そのような人はいない」が 31.8%で最も高くなっています。次いで「医師・歯科医師・看護師・薬剤師」が 23.4%、「自治会・老人クラブ」が 15.8%が続いています。

(MA) n=1,955



《家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手》×《年齢別》

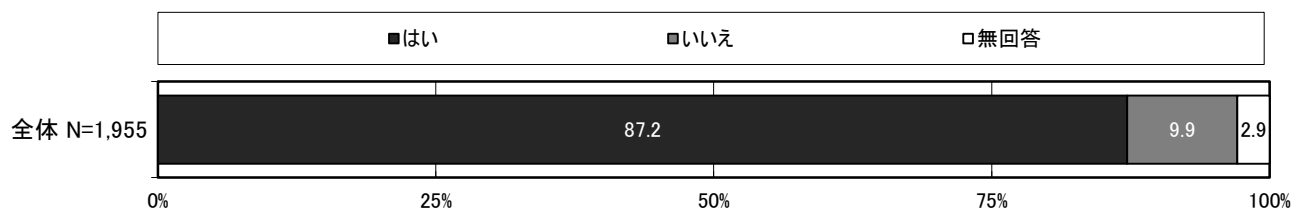
『65～69 歳』では「そのような人はいない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

『80 歳以上』では「民生委員」「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,955	65～69歳 N=406	70～74歳 N=451	75～79歳 N=453	80～84歳 N=383	85歳以上 N=262
自治会・老人クラブ	15.8	16.5	15.5	16.1	15.9	14.1
社会福祉協議会	12.8	7.1	10.9	16.1	16.2	14.5
民生委員	15.4	9.4	10.9	17.2	20.9	21.8
地域包括支援センター・市役所	7.2	5.4	5.8	8.2	7.8	9.9
医師・歯科医師・看護師・薬剤師	23.4	22.4	20.2	25.4	23.8	26.3
ケアマネジャー	7.3	2.7	5.3	3.5	11.5	18.3
そのような人はいない	31.8	41.9	37.5	31.1	23.2	19.8
その他	5.7	7.4	4.0	5.5	6.5	5.0
無回答	11.4	8.9	11.3	11.9	12.0	13.4

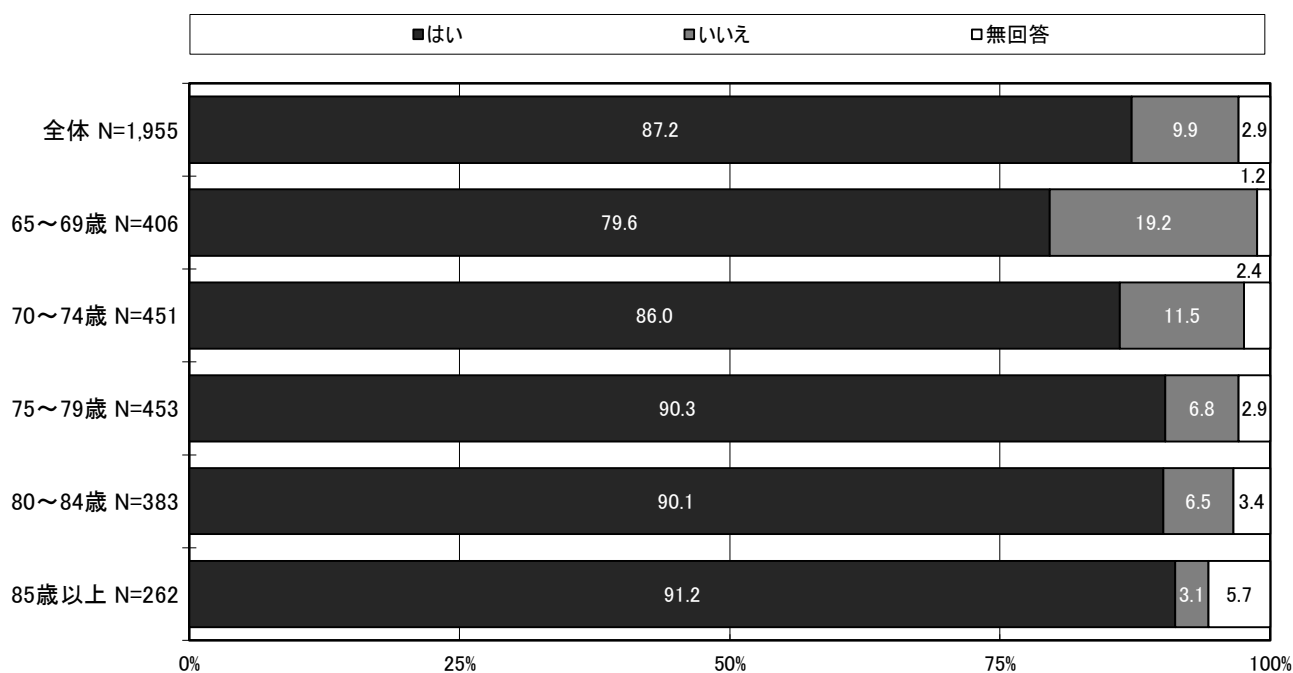
【問 35】 現在、かかりつけ医はありますか(SA)

「はい」が87.2%を占めています。



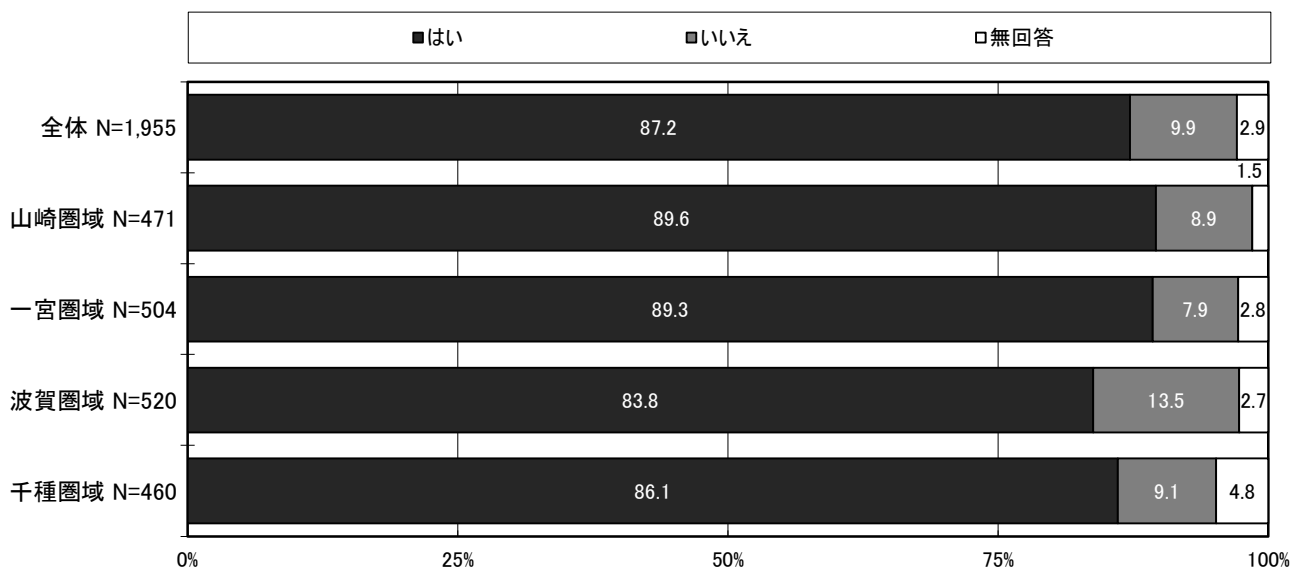
《かかりつけ医はありますか》×《年齢別》

『65～69 歳』では「いいえ」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。



《かかりつけ医はありますか》×《地区別》

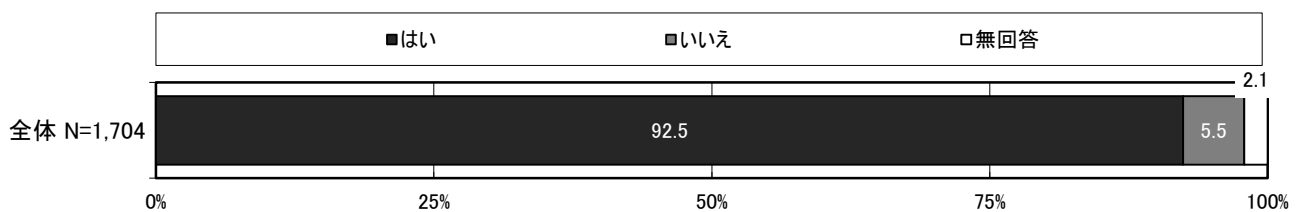
『波賀圏域』では「いいえ」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



【問 35 で「はい」と回答した方】

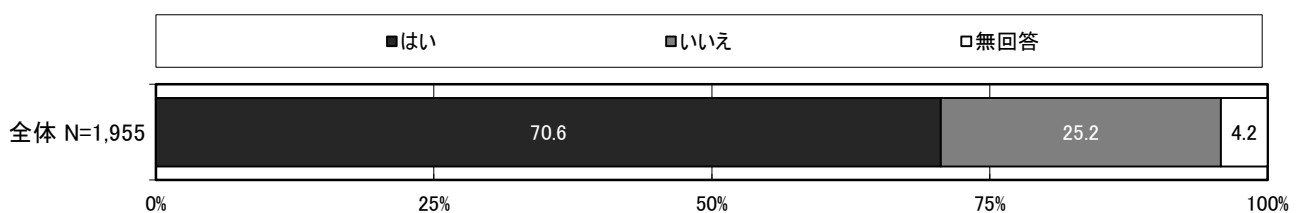
【問 36】 かかりつけ医への相談はできていますか(SA)

「はい」が 92.5%を占めています。



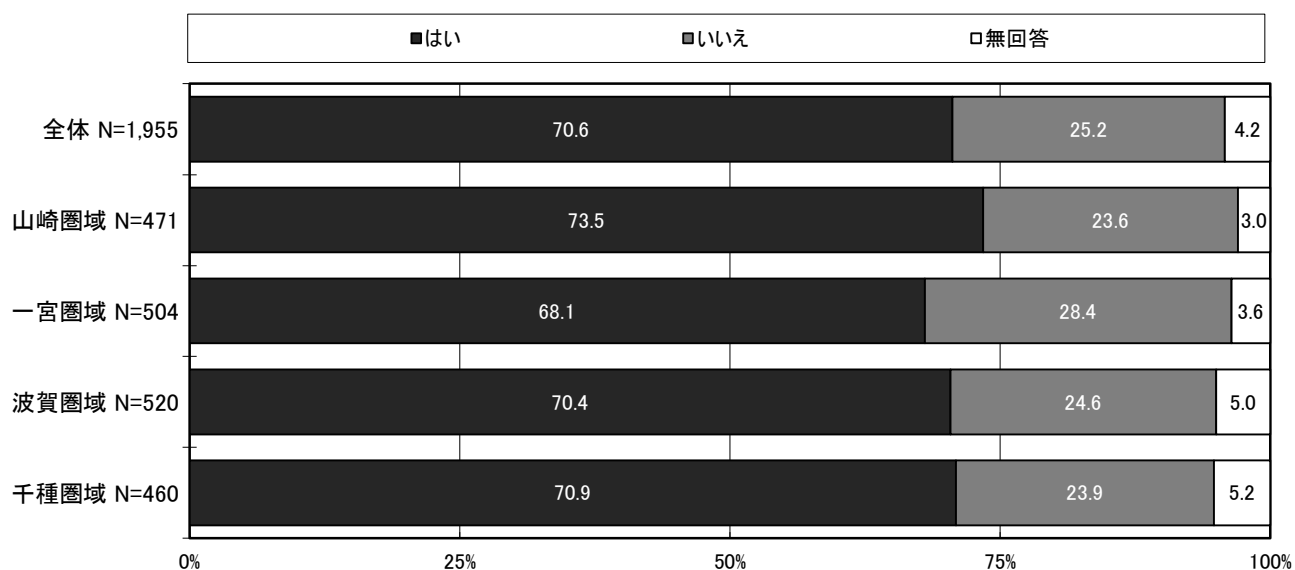
【問 37】 現在、かかりつけ歯科医はありますか(SA)

「はい」が 70.6%を占めています。



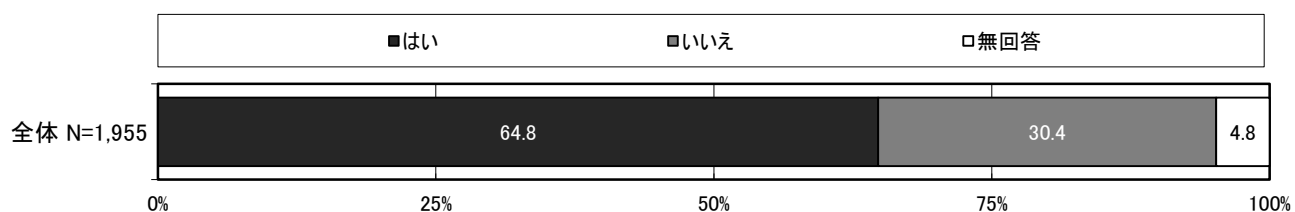
《かかりつけ歯科医はありますか》×《地区別》

『一宮圏域』では「いいえ」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



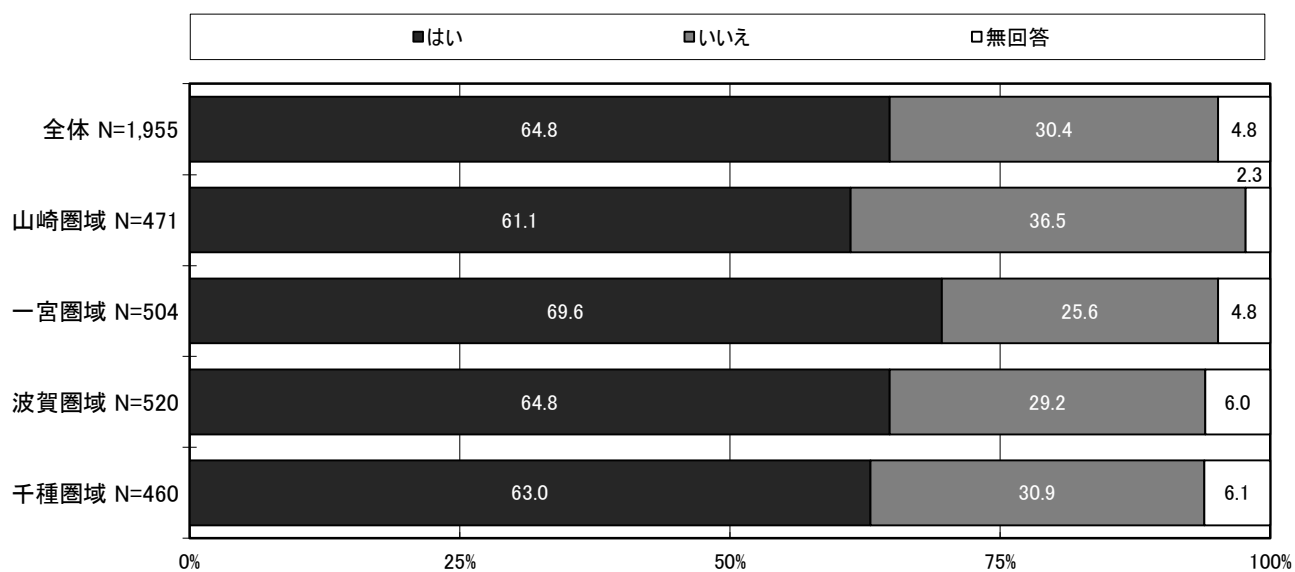
【問 38】 現在、かかりつけ薬局はありますか(SA)

「はい」が 64.8%を占めています。



《かかりつけ薬局はありますか》 × 《地区別》

『山崎圏域』では「いいえ」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

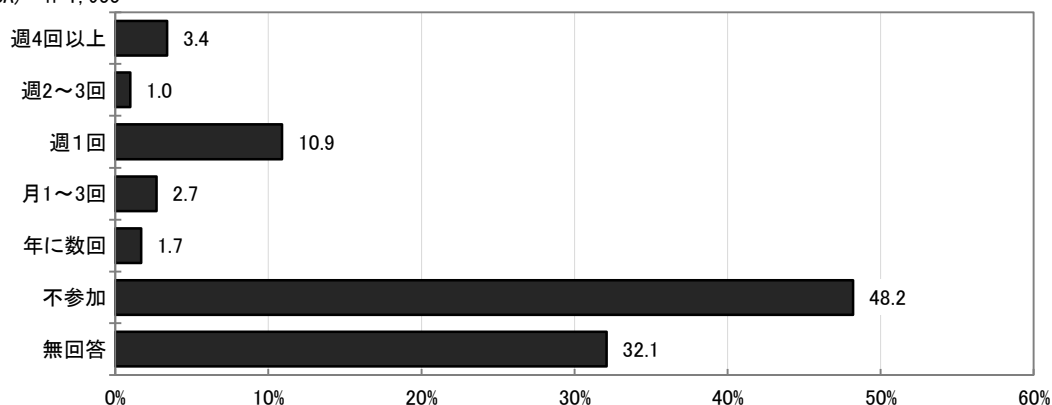


(2) 地域づくり活動等への参加促進

【問 40】⑤ 「いきいき百歳体操教室」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

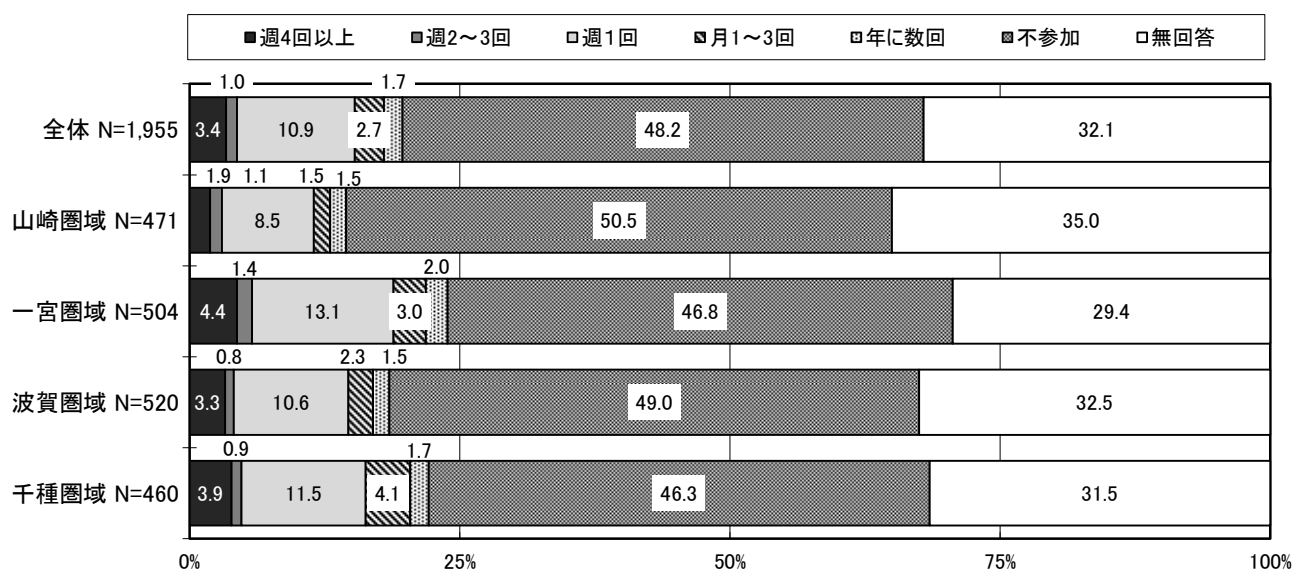
「不参加」が48.2%で突出しています。「週1回」が10.9%、「週4回以上」が3.4%が続いています。

(SA) n=1,955



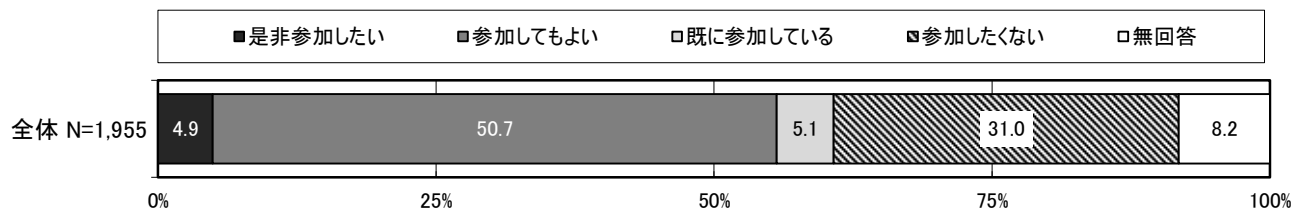
《「いきいき百歳体操教室」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか》×《地区別》

『一宮圏域』『千種圏域』では参加頻度が高くなっています。



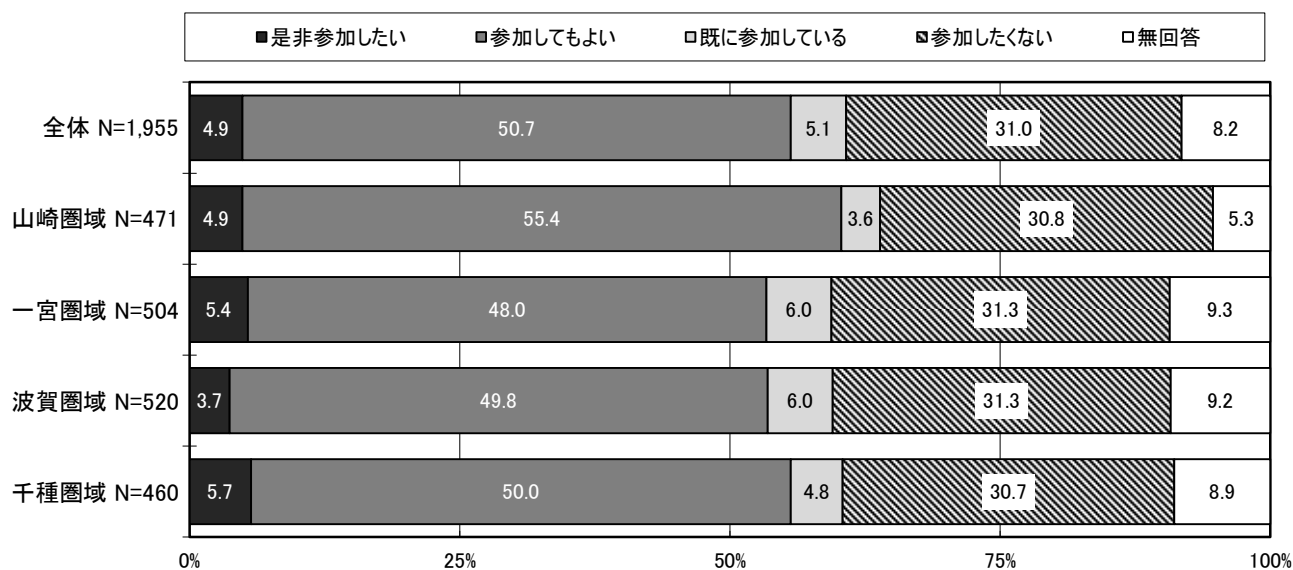
【問 41】 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (SA)

「参加してもよい」が 50.7%を占めています。



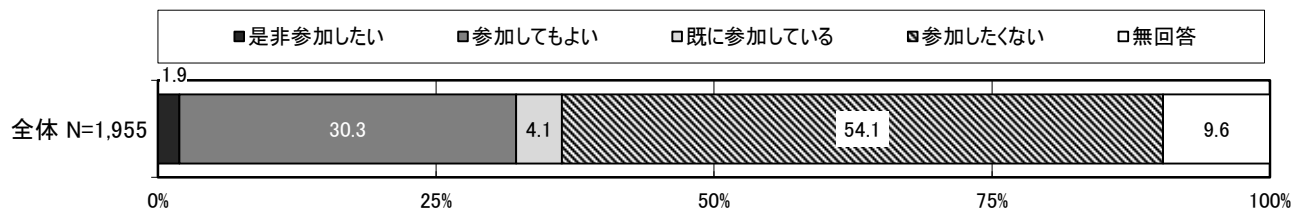
《参加者として参加したいか》×《地区別》

『山崎圏域』では「参加してもよい」(「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合)が高くなっています。



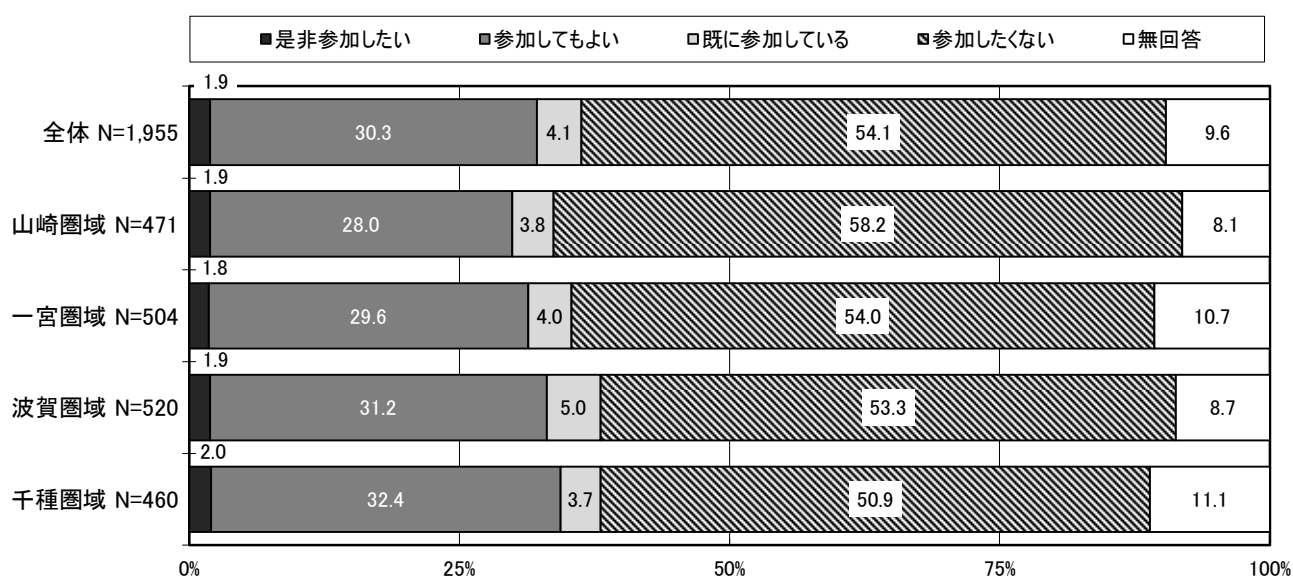
【問 42】 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか(SA)

「参加したくない」が 54.1%を占めています。



《企画・運営として参加したいか》×《地区別》

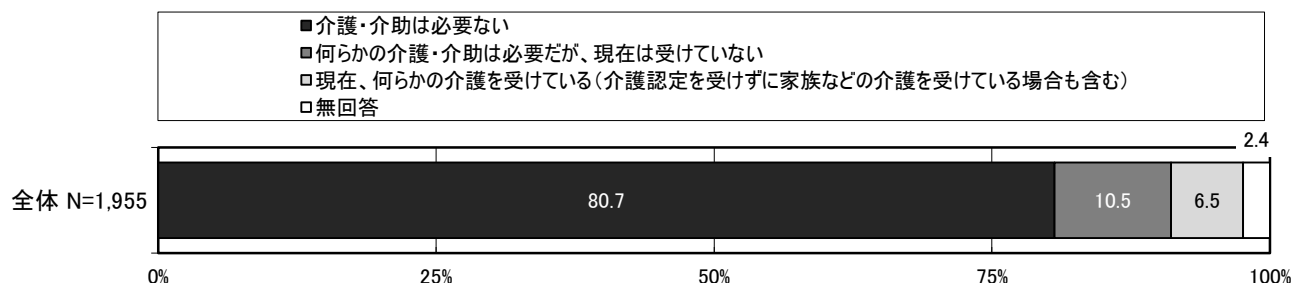
『千種圏域』では「参加してもよい」（「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合）が高くなっています。



2 介護予防の取組について 関係

【問 2】 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(SA)

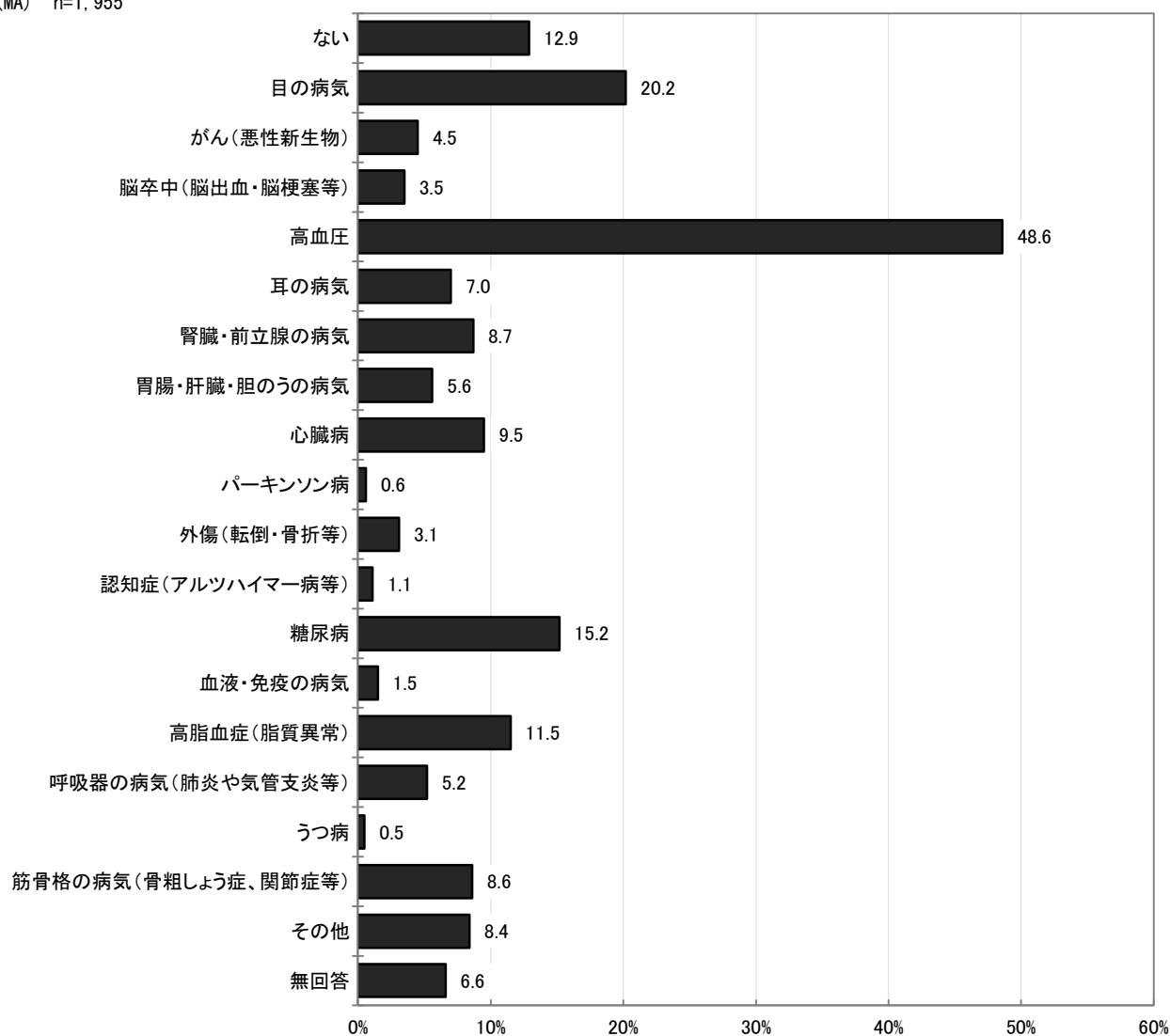
「介護・介助は必要ない」が80.7%を占めています。



【問 34】 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(MA)

「高血圧」が48.6%で突出しています。「目の病気」が20.2%、「糖尿病」が15.2%が続いています。

(MA) n=1,955



《現在治療中、または後遺症のある病気はありますか》×《性別》

『男性』は『女性』に比べて「腎臓・前立腺の病気」「糖尿病」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,955	男性 N=979	女性 N=976
ない	12.9	12.4	13.4
目の病気	20.2	18.9	21.5
がん(悪性新生物)	4.5	6.1	2.9
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	3.5	5.1	1.9
高血圧	48.6	47.3	50.0
耳の病気	7.0	7.0	6.9
腎臓・前立腺の病気	8.7	15.1	2.3
胃腸・肝臓・胆のうの病気	5.6	5.8	5.4
心臓病	9.5	12.0	7.1
パーキンソン病	0.6	0.8	0.3
外傷(転倒・骨折等)	3.1	2.5	3.8
認知症(アルツハイマー病等)	1.1	1.1	1.0
糖尿病	15.2	20.7	9.7
血液・免疫の病気	1.5	1.5	1.4
高脂血症(脂質異常)	11.5	8.4	14.7
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	5.2	6.8	3.5
うつ病	0.5	0.5	0.4
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	8.6	4.6	12.6
その他	8.4	6.5	10.2
無回答	6.6	6.2	7.0

健康リスク別判定 運動器の機能低下(SA)

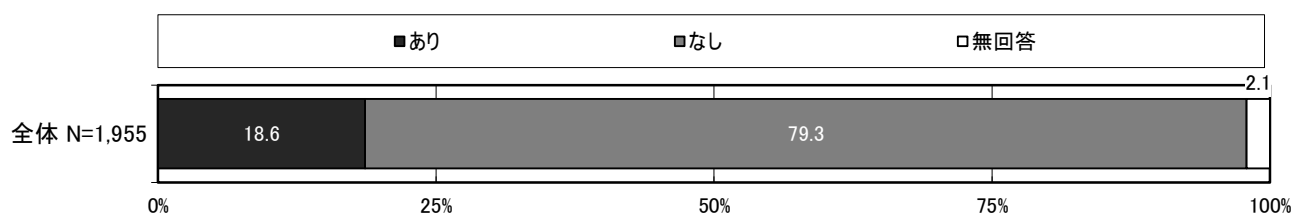
下記の設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、運動器の機能が低下している高齢者になります。

該当設問

項目	設問	選択肢
問4	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問5	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問6	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問7	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問8	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

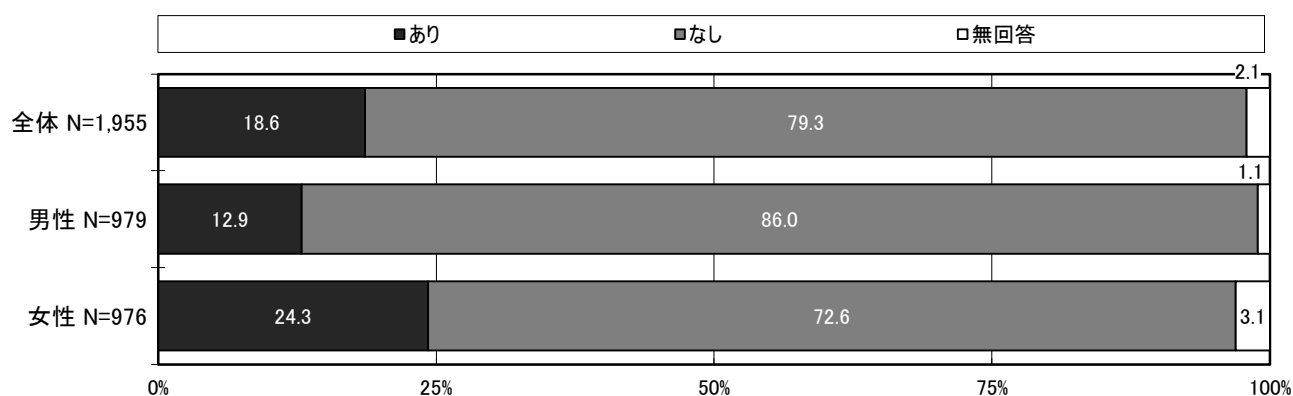
運動器の機能低下

「なし」が79.3%を占めています。



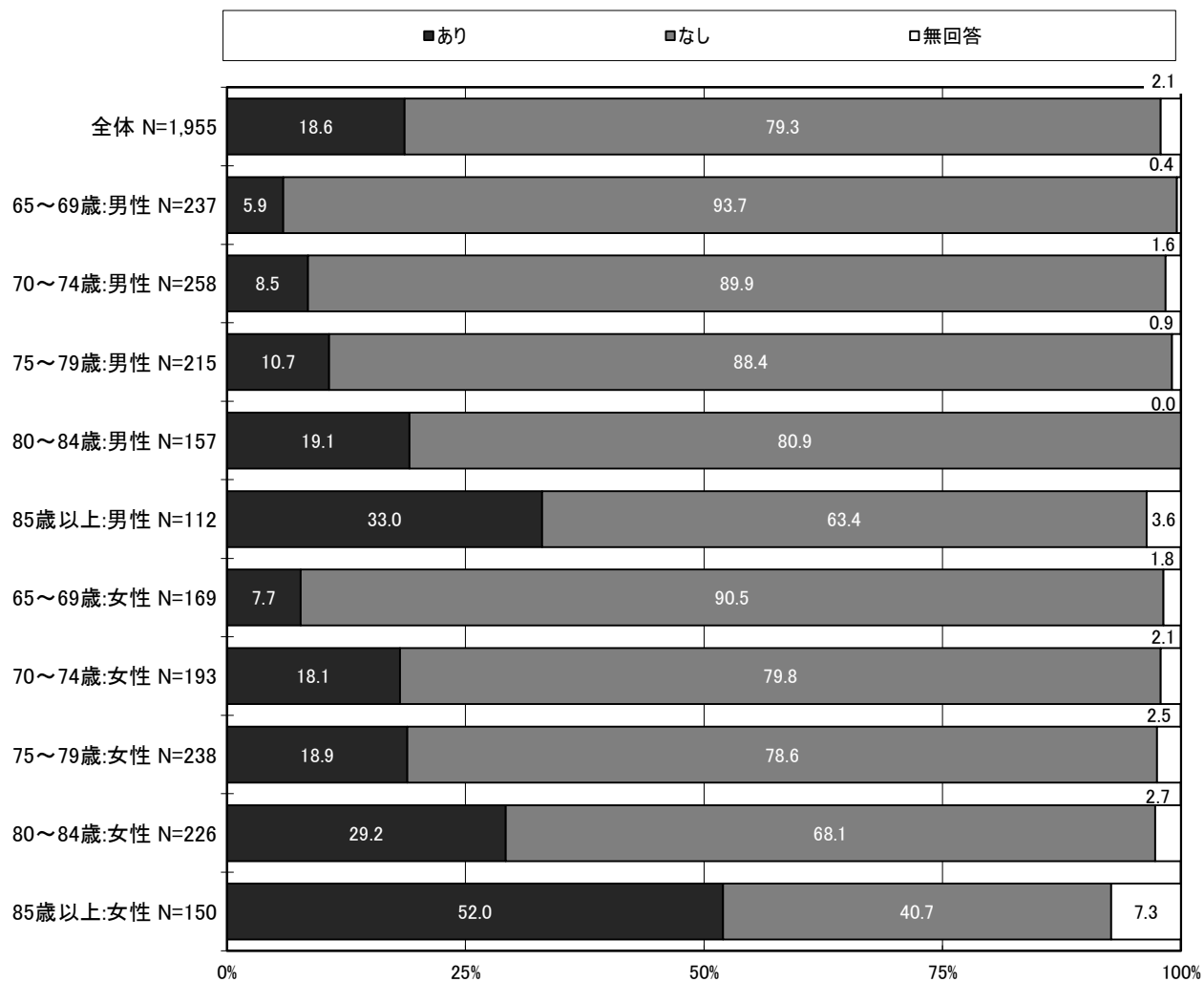
《性別》

『女性』は『男性』に比べて「あり」の割合が高くなっています。



《性年齢別》

『85歳以上：女性』では「あり」の割合が高くなっています。



健康リスク別判定 転倒リスク (SA)

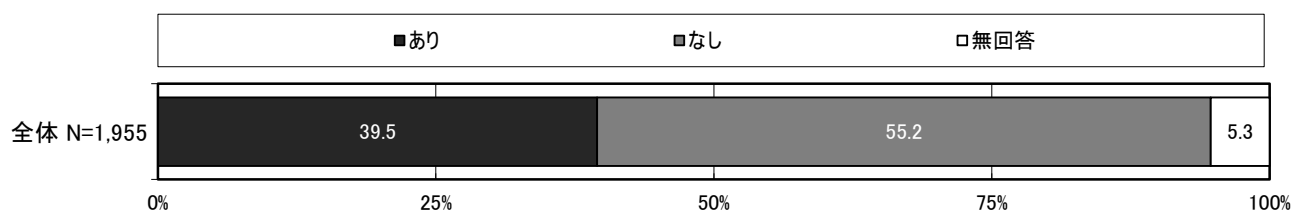
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります。

該当設問

項目	設問	選択肢
問 7	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある 3. ない

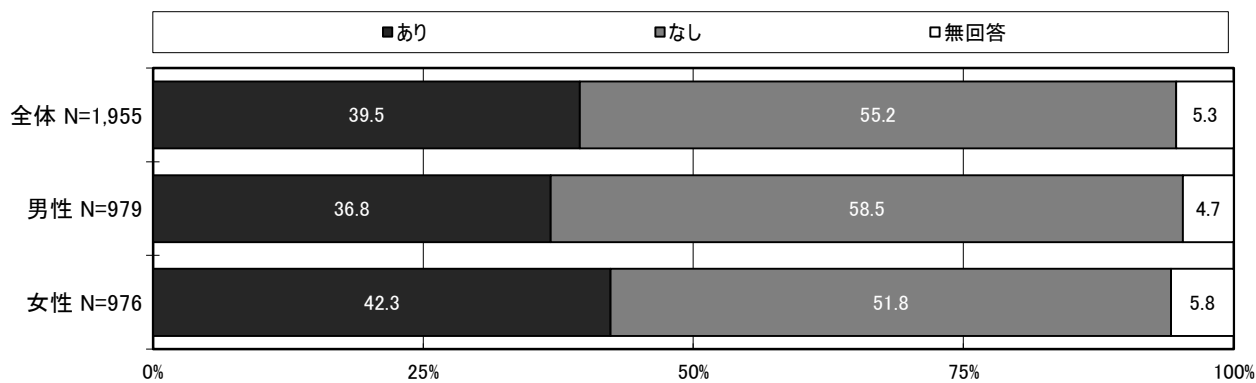
転倒リスク

「なし」が 55.2%を占めています。



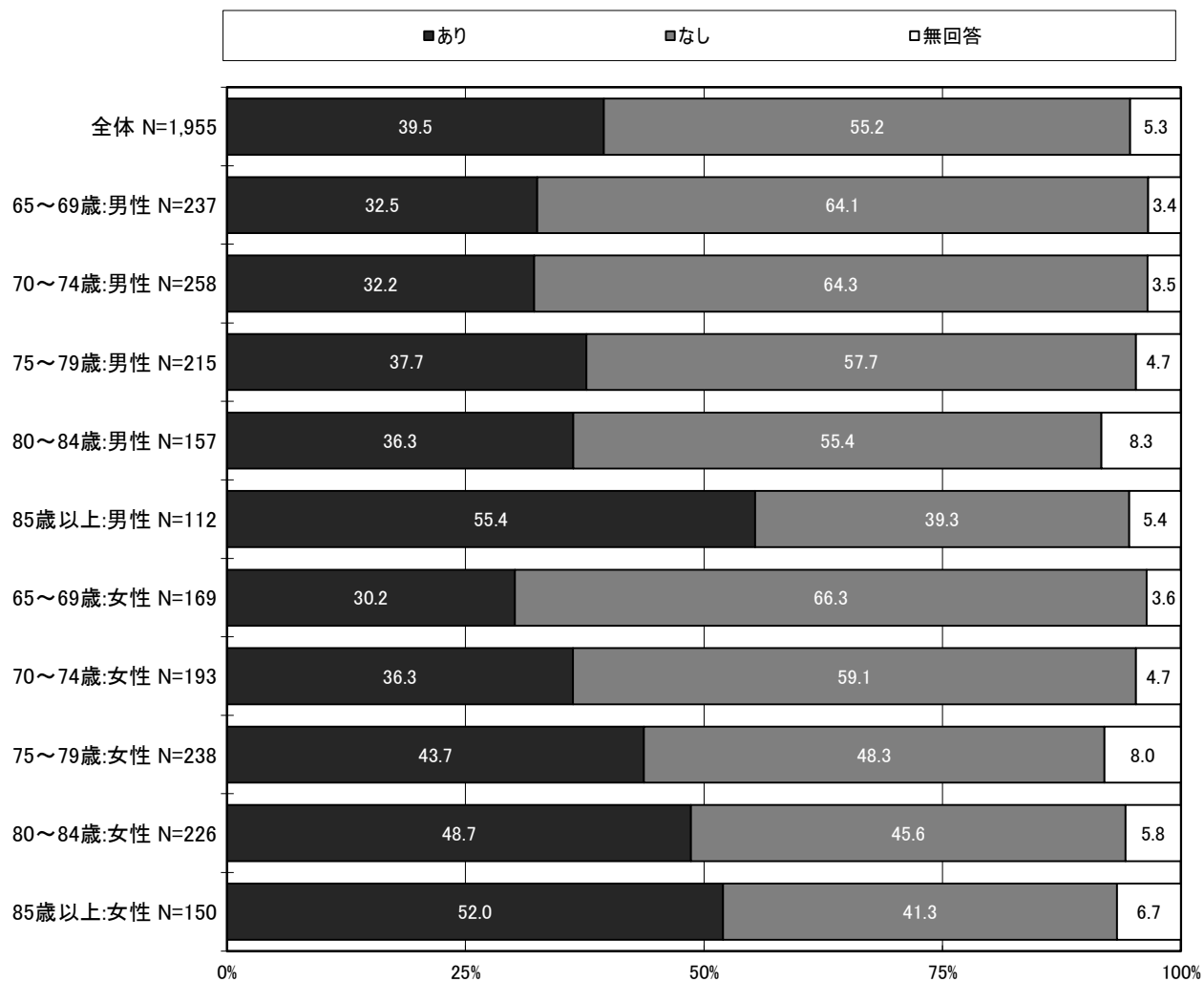
《性別》

『女性』は『男性』に比べて「あり」の割合が高くなっています。



《性年齢別》

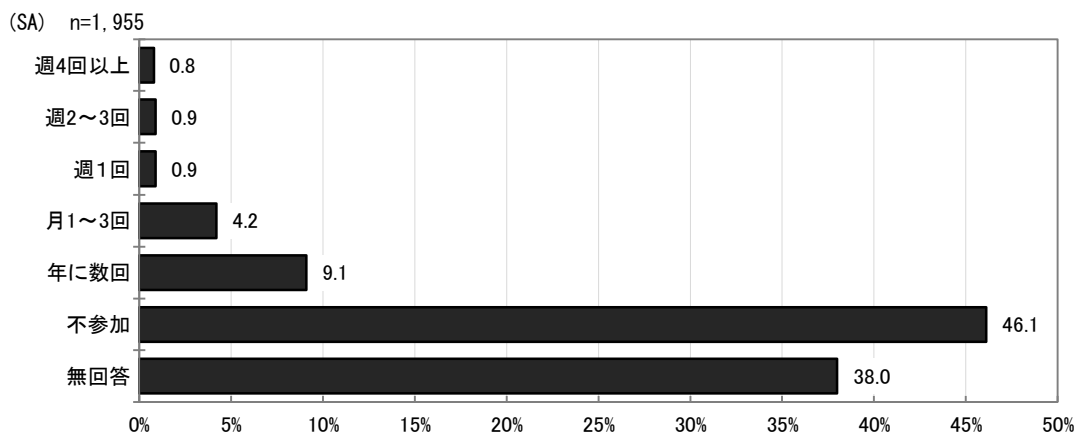
『85歳以上：男性』『85歳以上：女性』では「あり」の割合が高くなっています。



3 高齢者の社会参加について 関係

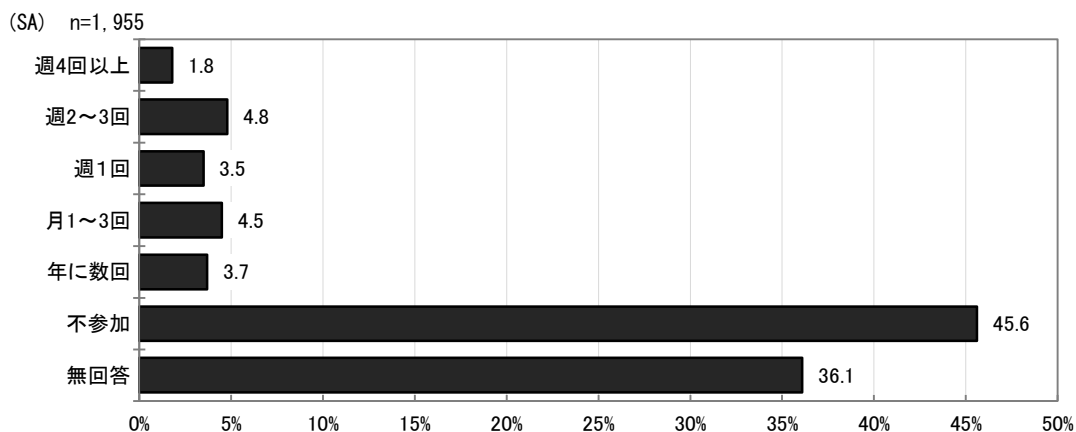
【問 40】① 「ボランティアのグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「不参加」が46.1%で突出しています。「年に数回」が9.1%、「月1～3回」が4.2%が続いています。



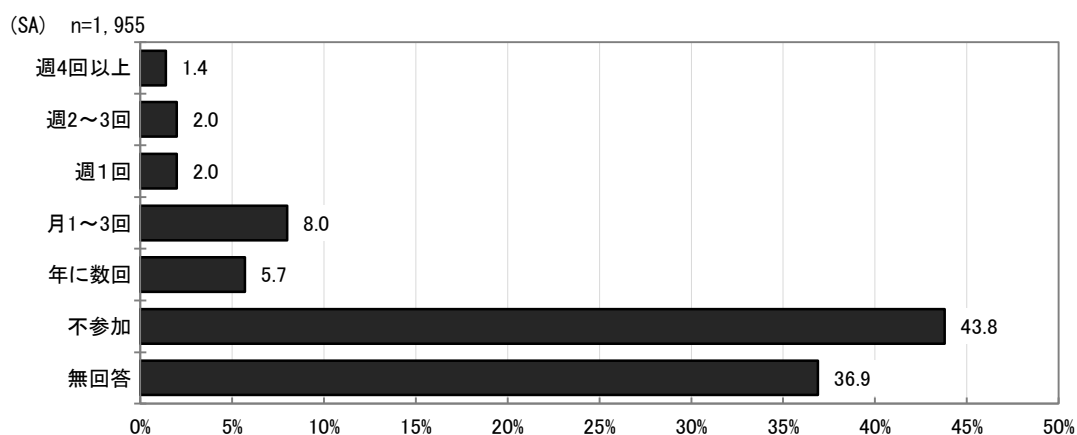
【問 40】② 「スポーツ関係のグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「不参加」が45.6%で突出しています。「週2～3回」が4.8%、「月1～3回」が4.5%が続いています。



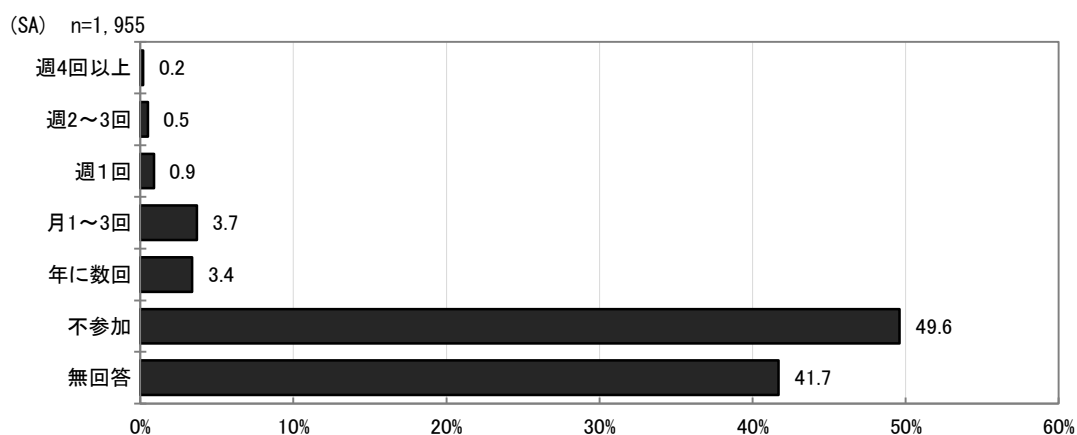
【問 40】③ 「趣味関係のグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「不参加」が43.8%で突出しています。「月1～3回」が8.0%、「年に数回」が5.7%が続いています。



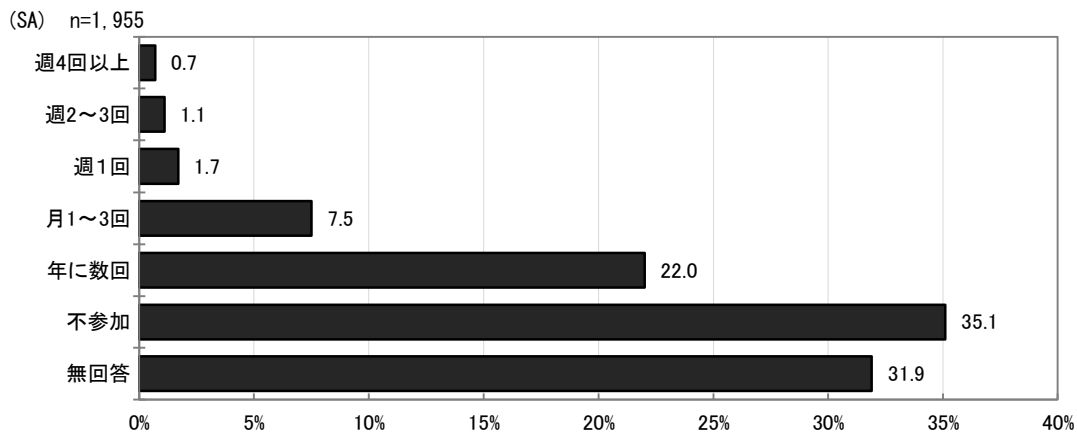
【問 40】④ 「学習・教養サークル」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「不参加」が49.6%で突出しています。「月1～3回」が3.7%、「年に数回」が3.4%が続いています。



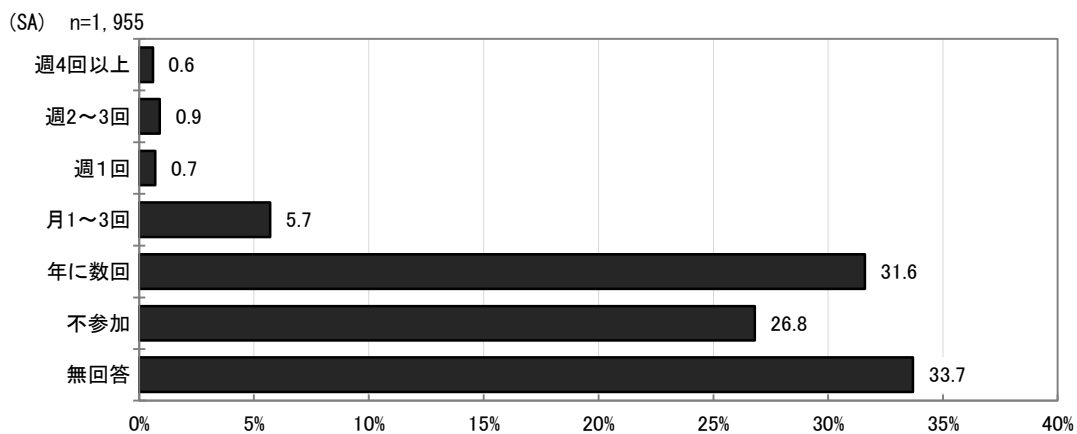
【問 40】⑥ 「老人クラブ活動」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「不参加」が 35.1%で最も高くなっています。次いで「年に数回」が 22.0%、「月 1～3 回」が 7.5%で続いています。



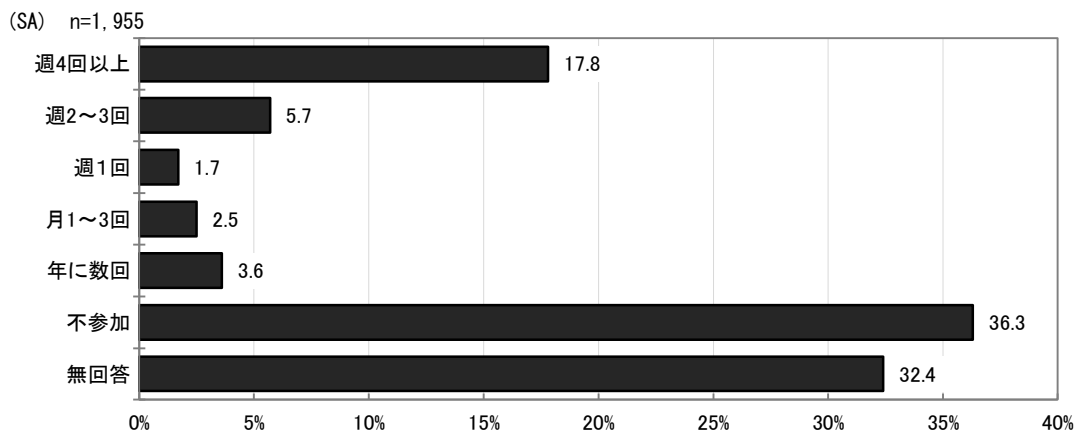
【問 40】⑦ 「自治会活動」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「年に数回」が 31.6%で最も高くなっています。次いで「不参加」が 26.8%、「月 1～3 回」が 5.7%で続いています。



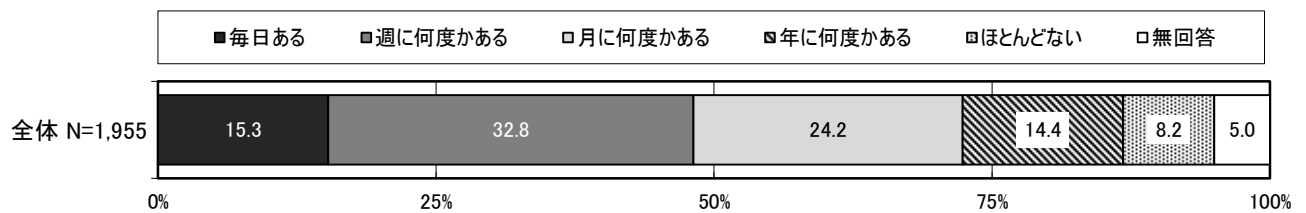
【問 40】⑧ 「収入のある仕事」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか(SA)

「不参加」が 36.3%で突出しています。「週 4 回以上」が 17.8%、「週 2～3 回」が 5.7%が続いています。



【問 47】 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(SA)

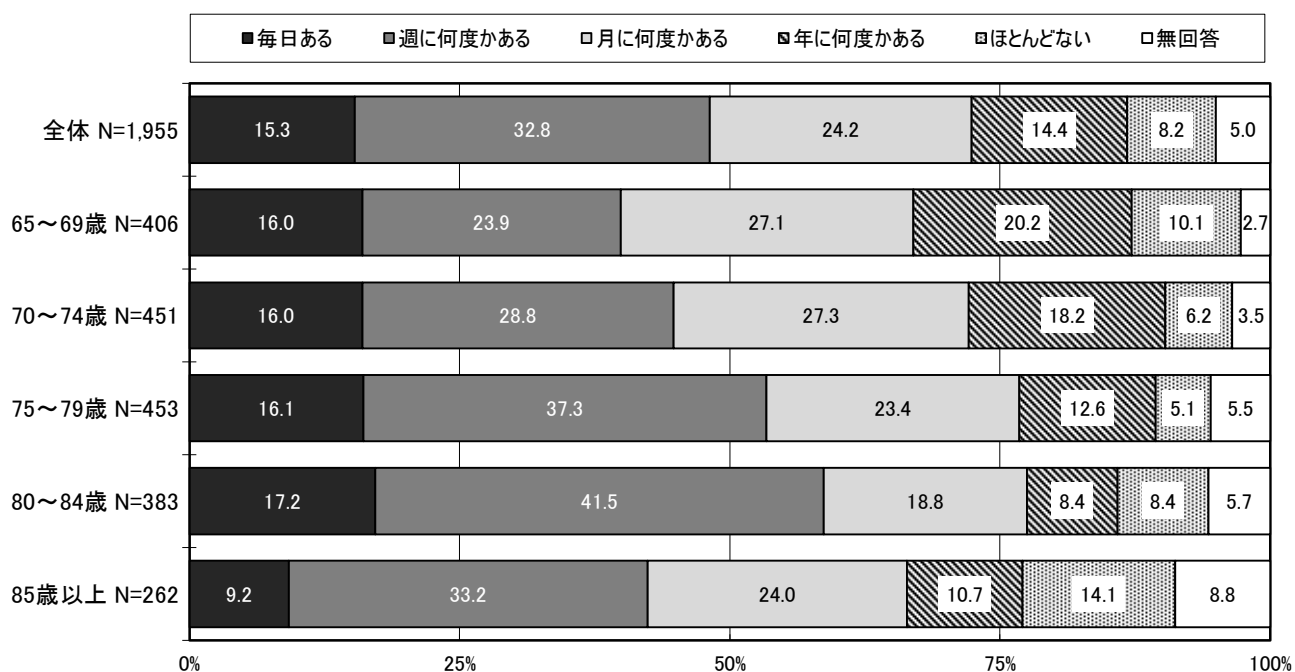
「週に何度かある」が 32.8%で最も高くなっています。次いで「月に何度かある」が 24.2%、「毎日ある」が 15.3%が続いています。



友人・知人と会う頻度はどれくらいですか》×《年齢別》

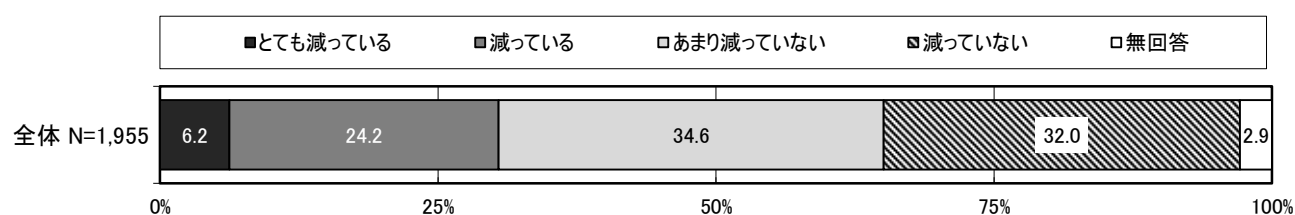
『80～84歳』では「週に何度かある」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

『85歳以上』では「ほとんどない」の割合が高くなっています。



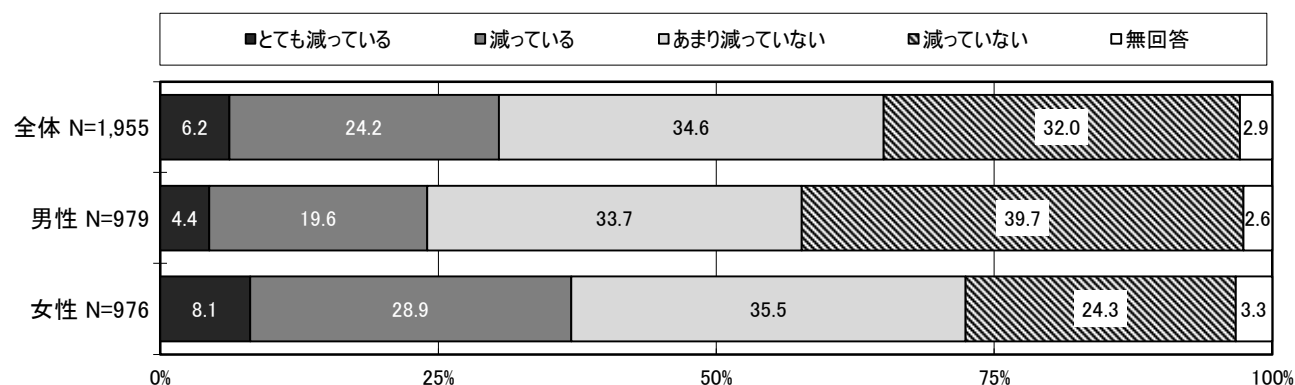
【問 10】 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(SA)

「あまり減っていない」が 34.6%で最も高く、次いで「減っていない」が 32.0%、「減っている」が 24.2%で続いています。



《昨年と比べて外出の回数が減っていますか》×《性別》

『女性』は『男性』に比べて「減っている」「とても減っている」「減っている」を合わせた割合が高くなっています。

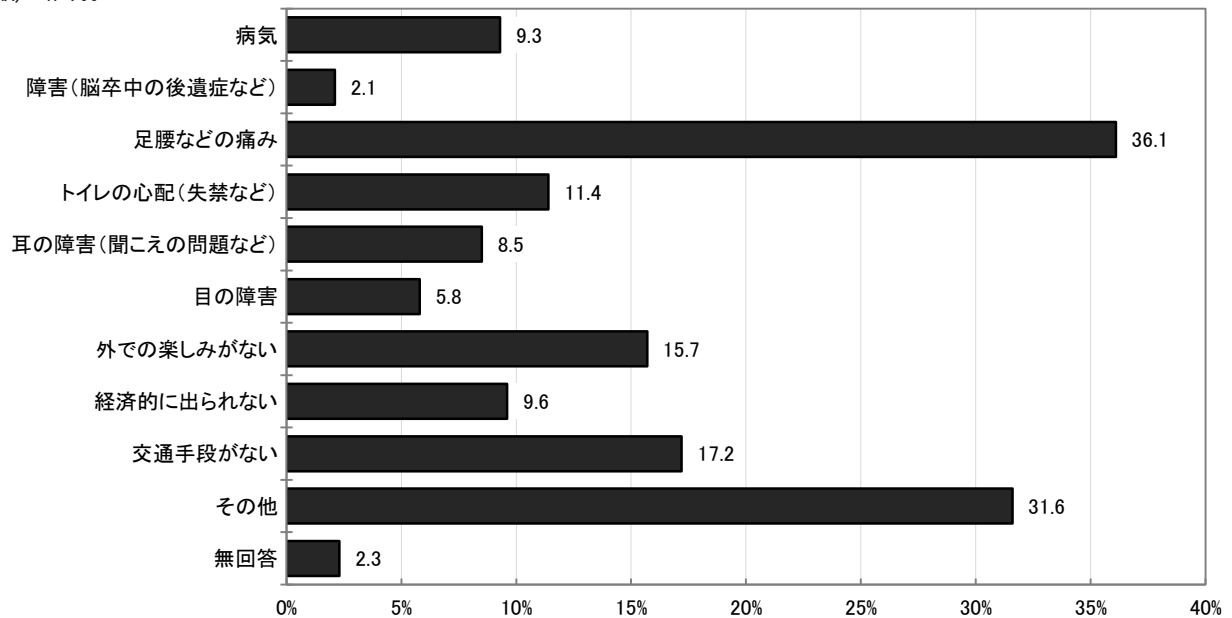


【問 11 で「はい（外出を控えている）」と回答した方】

【問 12】 外出を控えている理由は、次のどれですか(MA)

「足腰などの痛み」が 36.1%で最も高くなっています。次いで「交通手段がない」が 17.2%で続いています。

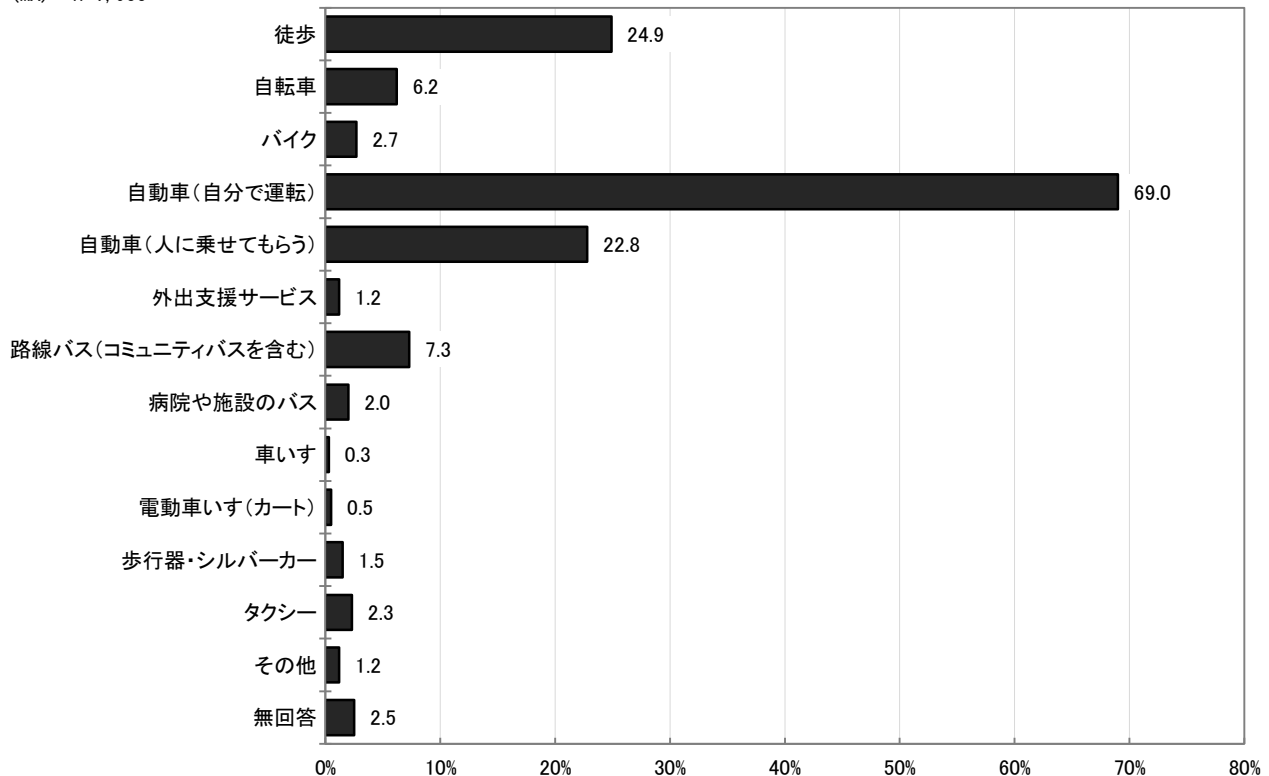
(MA) n=709



【問 13】 外出する際の移動手段は何ですか(MA)

「自動車（自分で運転）」が 69.0%で突出しています。「徒歩」が 24.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 22.8%が続いています。

(MA) n=1,955



《外出する際の移動手段は何ですか》 × 《性別》

『男性』は『女性』に比べて「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。

『女性』は『男性』に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,955	男性 N=979	女性 N=976
徒歩	24.9	25.3	24.4
自転車	6.2	6.7	5.6
バイク	2.7	2.1	3.2
自動車(自分で運転)	69.0	84.9	53.1
自動車(人に乗せてもらう)	22.8	12.7	32.9
外出支援サービス	1.2	0.2	2.2
路線バス(コミュニティバスを含む)	7.3	3.6	11.0
病院や施設のバス	2.0	1.1	2.9
車いす	0.3	0.2	0.3
電動車いす(カート)	0.5	0.4	0.6
歩行器・シルバーカー	1.5	0.3	2.7
タクシー	2.3	0.8	3.7
その他	1.2	0.6	1.8
無回答	2.5	1.7	3.2

《外出する際の移動手段は何ですか》 × 《年齢別》

『65～79 歳』では「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。

『80 歳以上』では「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,955	65～69歳 N=406	70～74歳 N=451	75～79歳 N=453	80～84歳 N=383	85歳以上 N=262
徒歩	24.9	21.2	25.1	24.9	25.6	29.0
自転車	6.2	4.9	6.2	8.2	6.3	4.6
バイク	2.7	2.0	2.0	2.2	5.0	2.3
自動車(自分で運転)	69.0	89.7	85.8	74.6	50.1	26.0
自動車(人に乗せてもらう)	22.8	9.9	15.1	19.9	32.4	46.9
外出支援サービス	1.2	0.2	0.2	0.2	3.1	3.1
路線バス(コミュニティバスを含む)	7.3	1.5	3.5	5.1	13.3	17.6
病院や施設のバス	2.0	0.5	0.2	0.4	2.9	8.8
車いす	0.3	0.2	0.2	—	—	1.1
電動車いす(カート)	0.5	—	—	0.2	0.5	2.7
歩行器・シルバーカー	1.5	0.2	0.4	0.4	2.1	6.1
タクシー	2.3	—	0.9	0.9	4.7	6.9
その他	1.2	0.2	0.9	0.9	1.8	3.1
無回答	2.5	1.5	2.0	2.9	2.6	3.8

外出する際の移動手段は何ですか》 × 《地区別》

『山崎圏域』では「徒歩」「自転車」、『一宮圏域』では「自動車（人に乗せてもらう）」、『波賀圏域』では「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」、『千種圏域』では「路線バス」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

	全体 N=1,955	山崎圏域 N=471	一宮圏域 N=504	波賀圏域 N=520	千種圏域 N=460
徒歩	24.9	27.6	23.8	23.3	25.0
自転車	6.2	12.3	7.3	1.7	3.7
バイク	2.7	2.3	2.2	3.1	3.0
自動車(自分で運転)	69.0	69.6	69.6	68.5	68.3
自動車(人に乗せてもらう)	22.8	21.2	24.0	24.2	21.3
外出支援サービス	1.2	1.5	1.6	1.0	0.7
路線バス(コミュニティバスを含む)	7.3	4.5	5.8	8.5	10.4
病院や施設のバス	2.0	1.5	2.6	2.5	1.3
車いす	0.3	—	0.4	0.2	0.4
電動車いす(カート)	0.5	—	1.2	0.6	0.2
歩行器・シルバーカー	1.5	1.5	1.8	1.2	1.5
タクシー	2.3	4.9	1.2	2.7	0.2
その他	1.2	1.1	2.0	0.6	1.3
無回答	2.5	1.7	3.2	2.7	2.2

健康リスク別判定 閉じこもり傾向 (SA)

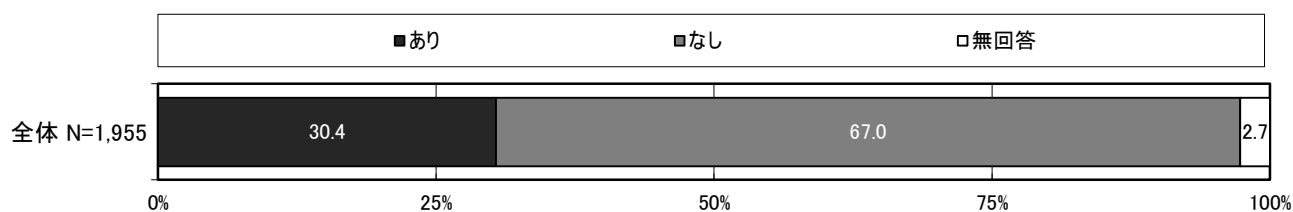
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

該当設問

項目	設問	選択肢
問 9	週に 1 回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週 1 回 3. 週 2 ～ 4 回 4. 週 5 回以上

閉じこもり傾向

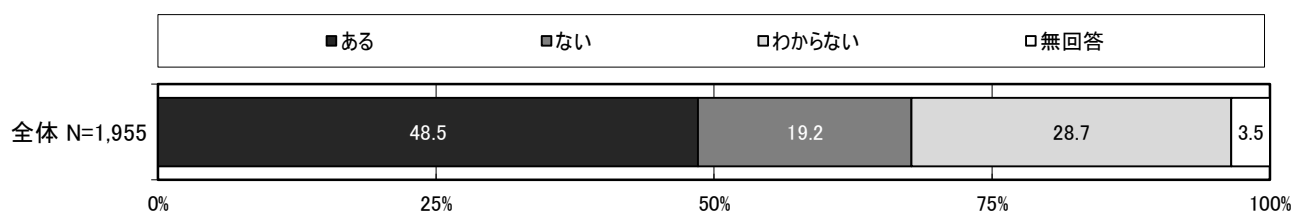
「なし」が 67.0%を占めています。



4 地域での支え合いについて 関係

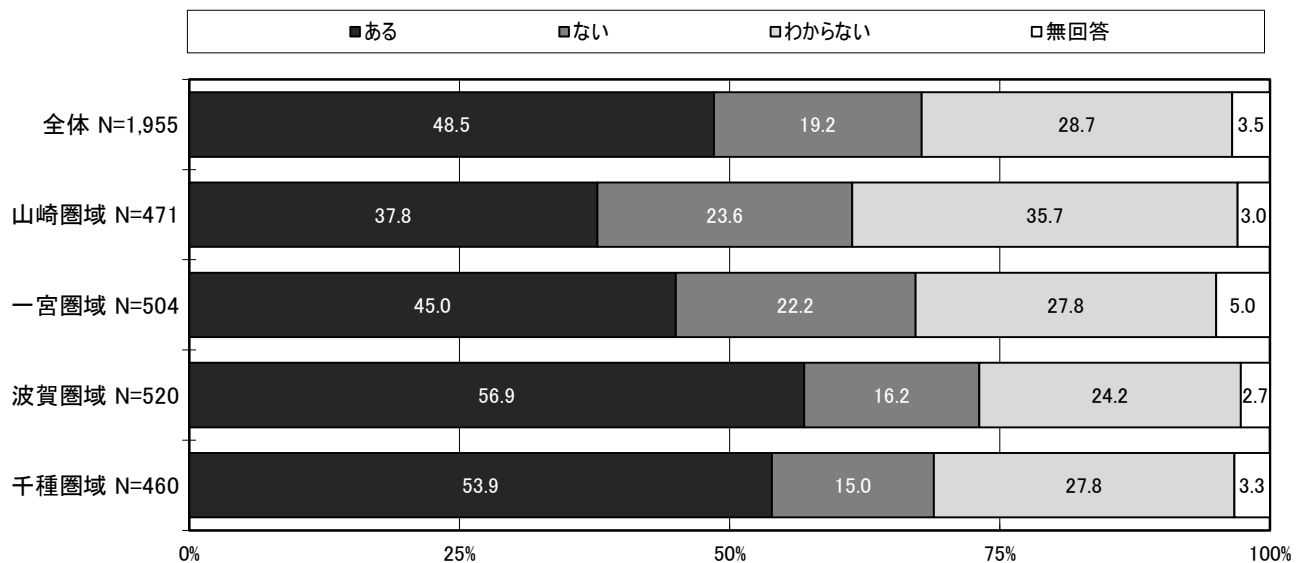
【問 51】 あなたの地域の中で見守りや声かけがありますか (SA)

「ある」が 48.5%で最も高く、次いで「わからない」が 28.7%となっています。



《見守りや声かけがありますか》×《地区別》

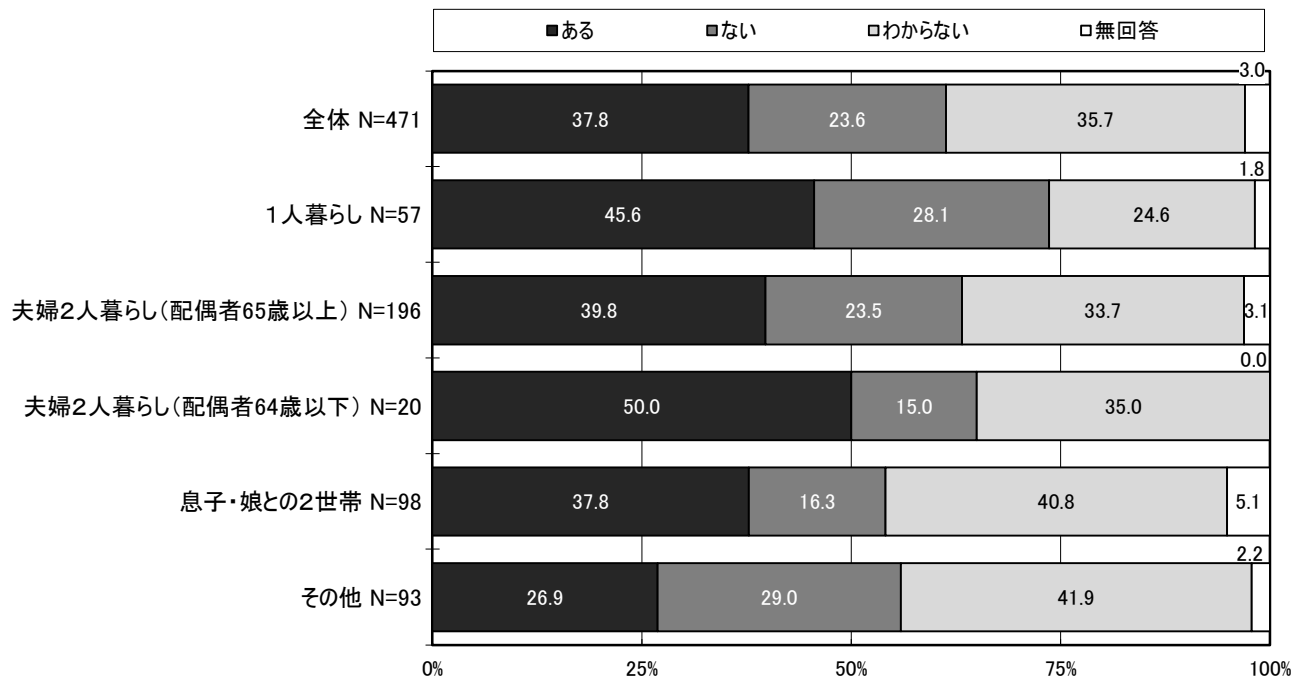
『山崎圏域』では「ない」「わからない」、『波賀圏域』『千種圏域』では「ある」の割合が他の地区と比べ高くなっています。



見守りや声かけがありますか×《家族構成別》×《地区別》

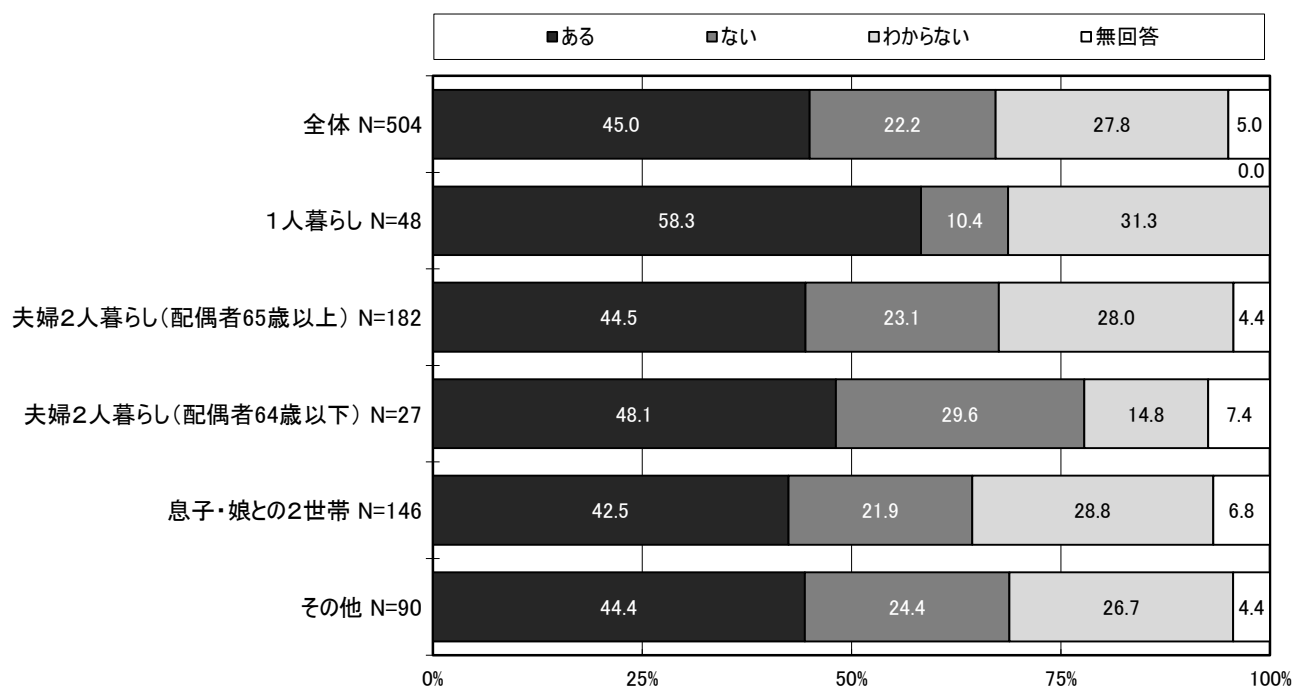
【山崎圏域】

『山崎圏域』において、『1人暮らし』『夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）』では「ある」の割合が他の世帯と比べて高くなっています。



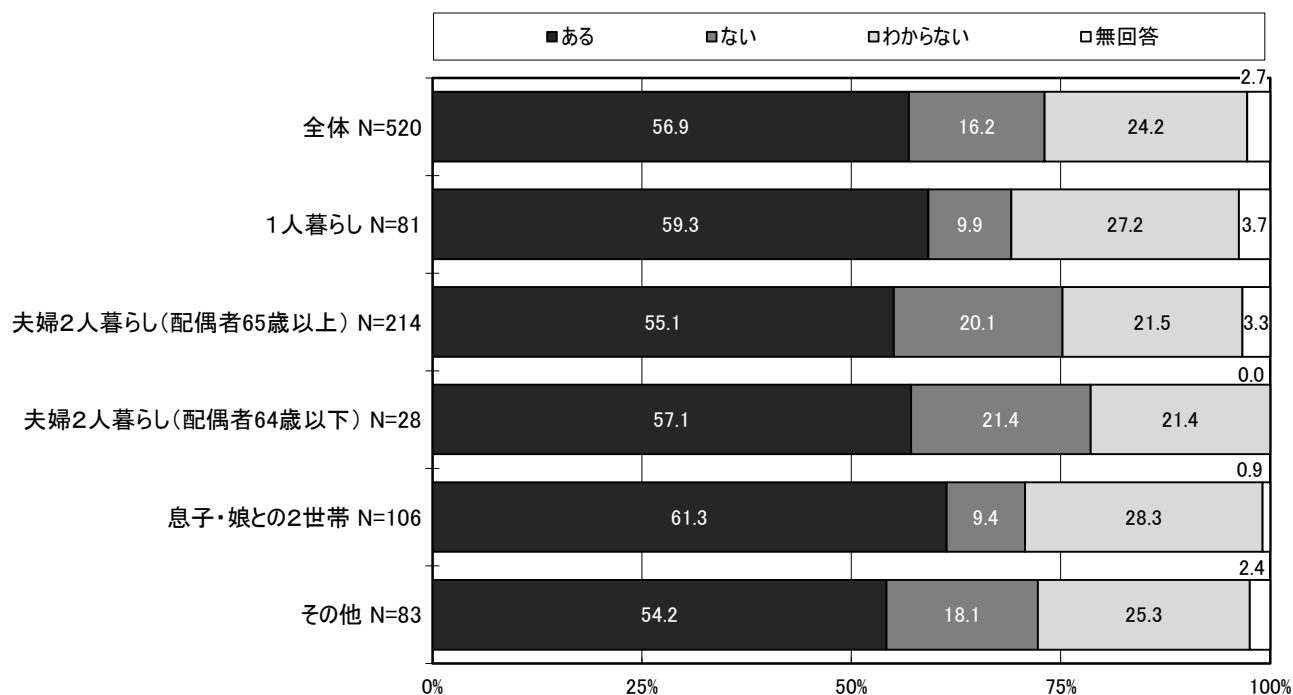
【一宮圏域】

『一宮圏域』において、『1人暮らし』では「ある」の割合が他の世帯と比べて高くなっています。



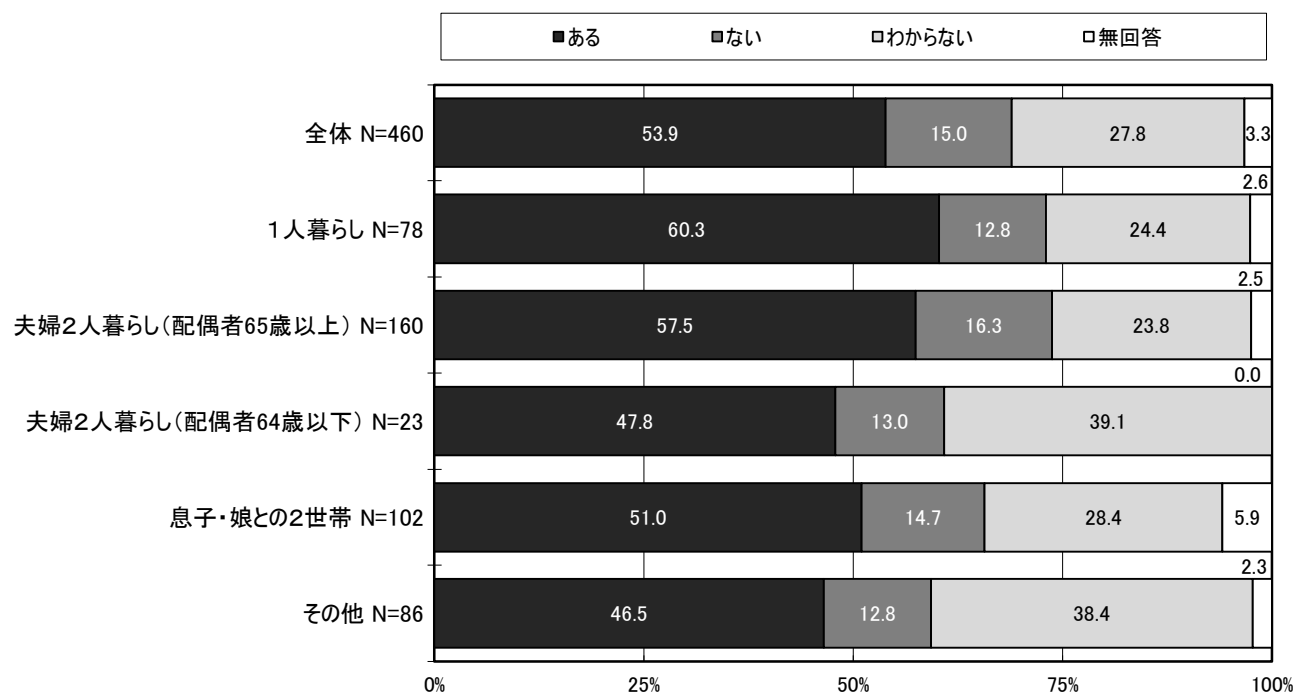
【波賀圏域】

『波賀圏域』において、『1人暮らし』『息子・娘との2世帯』では「ある」の割合が他の世帯と比べてやや高くなっています。



【千種圏域】

『千種圏域』において、『1人暮らし』『夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）』では「ある」の割合が他の世帯と比べて高くなっています。

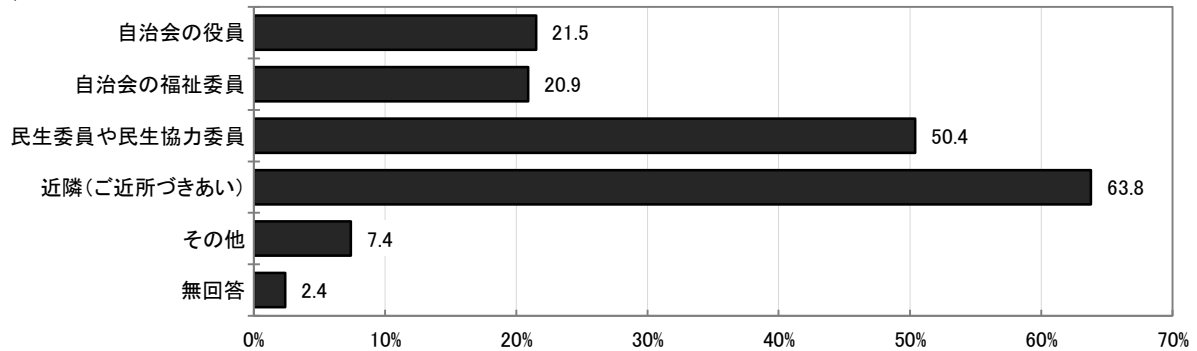


【問 51 で「ある」と回答した方】

【問 52】 誰が見守りや声かけを行っていますか(MA)

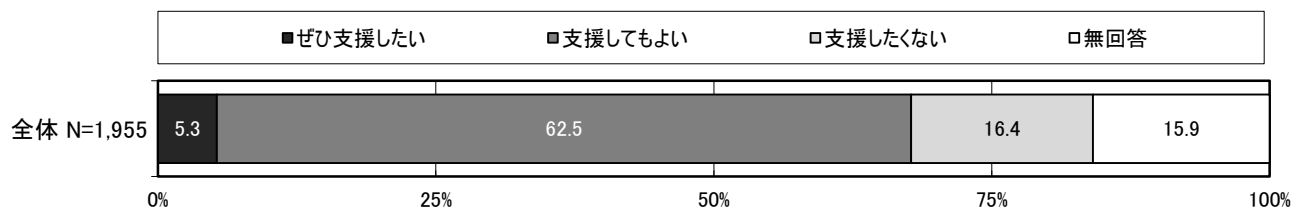
「近隣(ご近所づきあい)」が 63.8%で最も高くなっています。次いで「民生委員や民生協力委員」が 50.4%、「自治会の役員」が 21.5%が続いています。

(MA) n=949



【問 56】 問 53 の“支え合い”が地域の中であれば、支援者側として(SA)

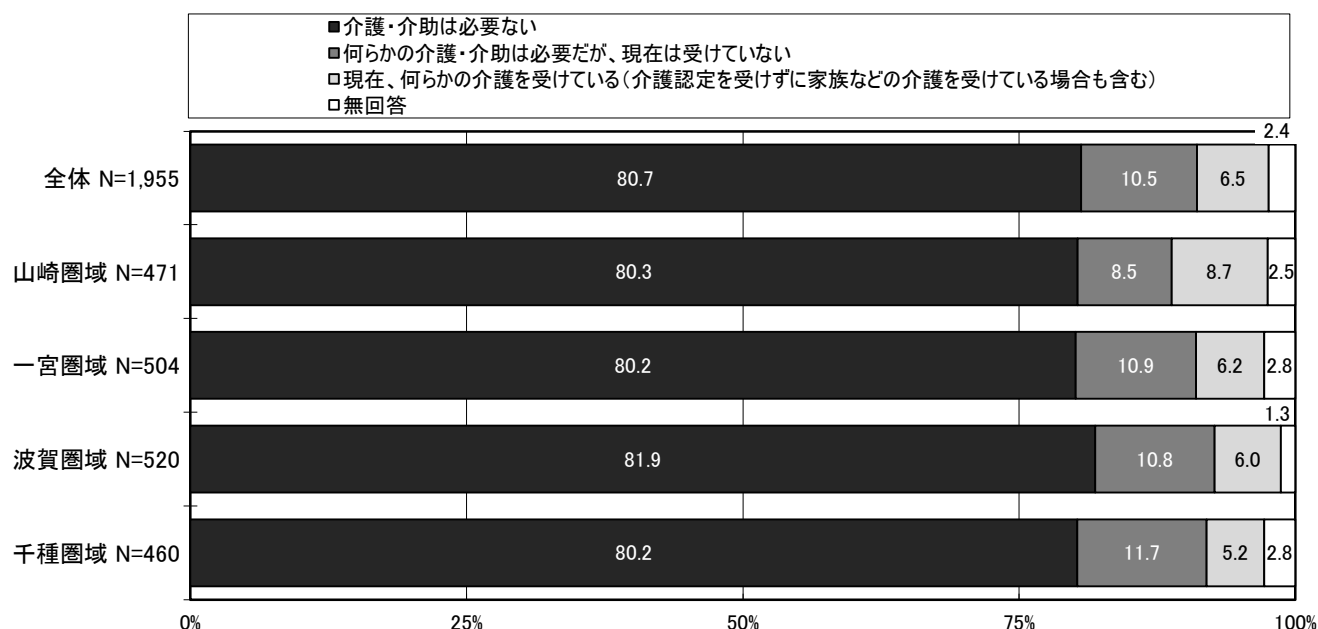
「支援してもよい」が 62.5%を占めています。



(1) 山崎圏域

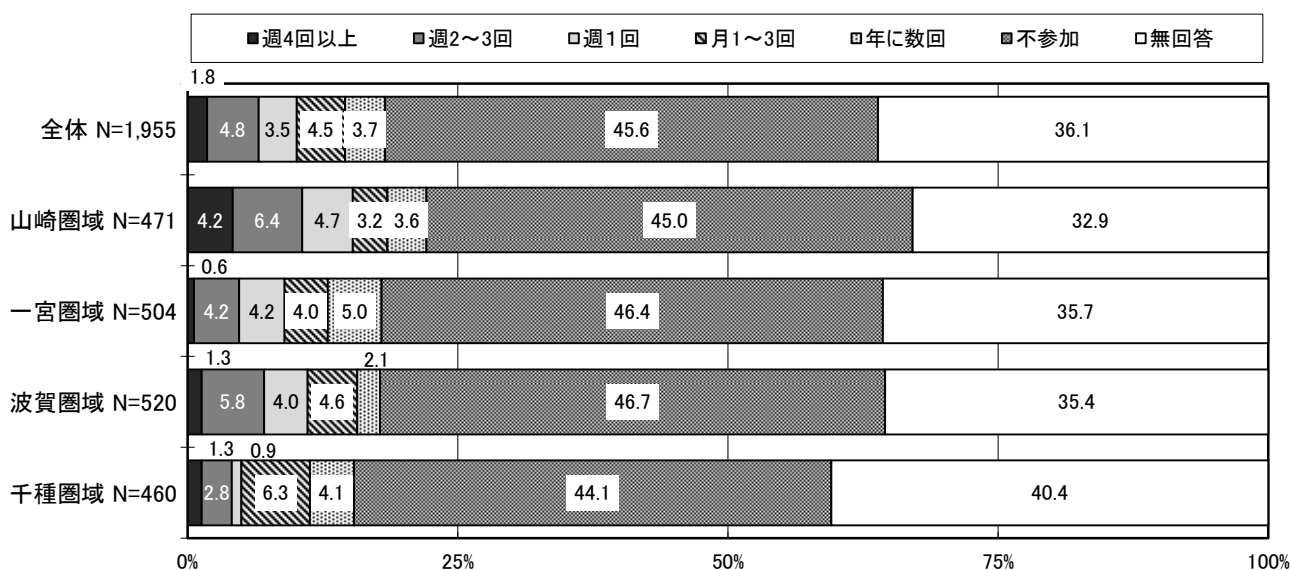
《普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか》×《地区別》

『山崎圏域』では「現在、何らかの介護を受けている」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



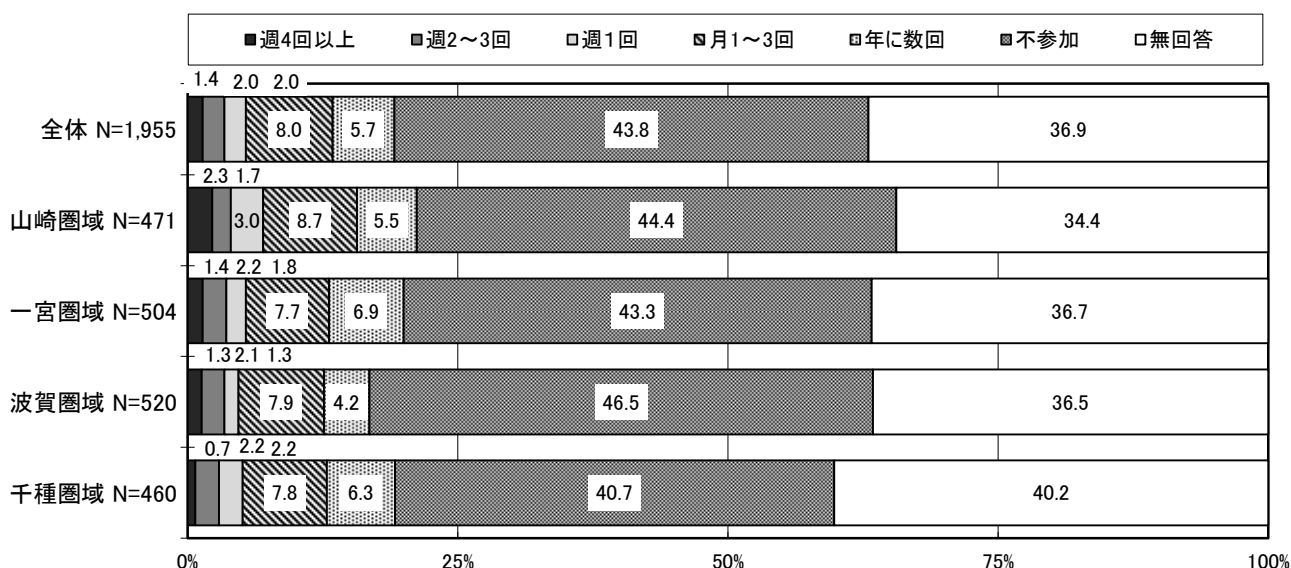
「スポーツ関係のグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか×《地区別》

『山崎圏域』では参加頻度が高くなっています。



「趣味関係のグループ」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか》×《地区別》

『山崎圏域』では参加頻度が高くなっています。



(2) 一宮圏域

《誰が見守りや声かけを行っていますか》×《地区別》

『一宮圏域』では「自治会の役員」「近隣（ご近所づきあい）」、『波賀圏域』では「自治会の福祉委員」「近隣（近所づきあい）」の割合が他の地区と比べ高くなっています。

	全体 N=949	山崎圏域 N=178	一宮圏域 N=227	波賀圏域 N=296	千種圏域 N=248
自治会の役員	21.5	18.5	26.4	21.3	19.4
自治会の福祉委員	20.9	15.2	19.8	29.4	15.7
民生委員や民生協力委員	50.4	48.3	43.6	53.0	54.8
近隣(ご近所づきあい)	63.8	61.2	66.1	66.2	60.5
その他	7.4	7.3	10.1	6.1	6.5
無回答	2.4	2.8	2.2	1.7	3.2

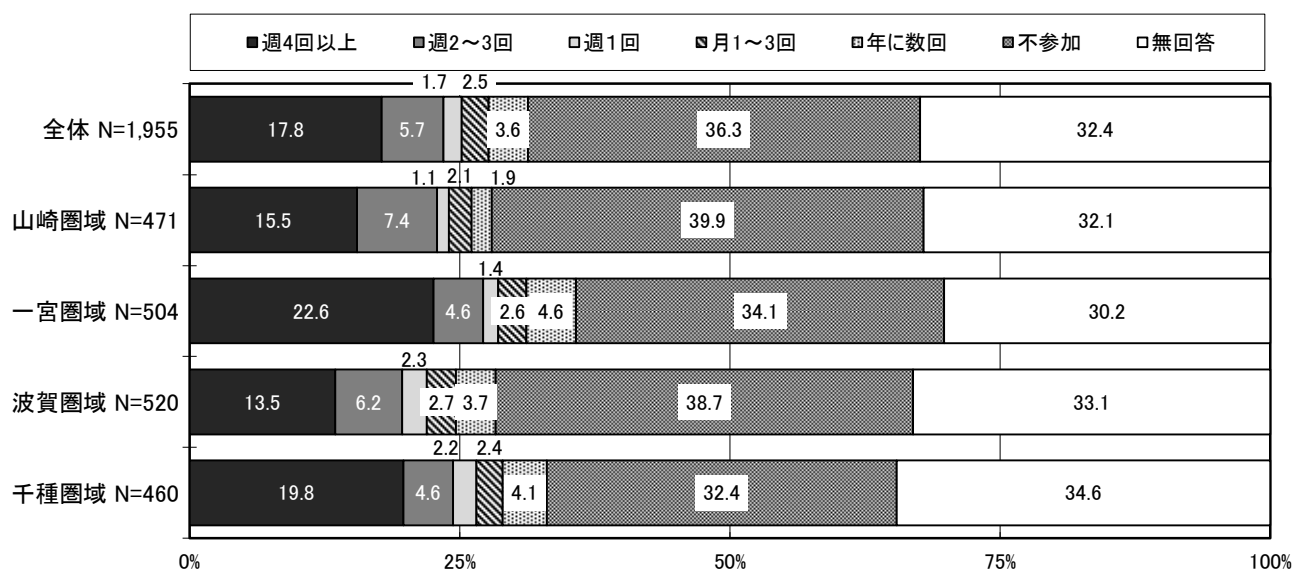
《集まる場所はどこですか》×《地域別》

一宮圏域では「公民館・集会所」、波賀圏域では「近所のお家」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

	全体 N=895	山崎圏域 N=157	一宮圏域 N=240	波賀圏域 N=274	千種圏域 N=224
公民館・集会所	77.2	75.2	80.8	74.1	78.6
近所のお家	32.3	28.7	29.2	39.4	29.5
喫茶店	10.3	12.7	15.4	5.5	8.9
その他	7.5	7.0	6.3	8.8	7.6
無回答	1.0	0.6	0.8	0.7	1.8

「収入のある仕事」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか》×《地区別》

『一宮圏域』では参加頻度が高くなっています。



(3) 波賀圏域

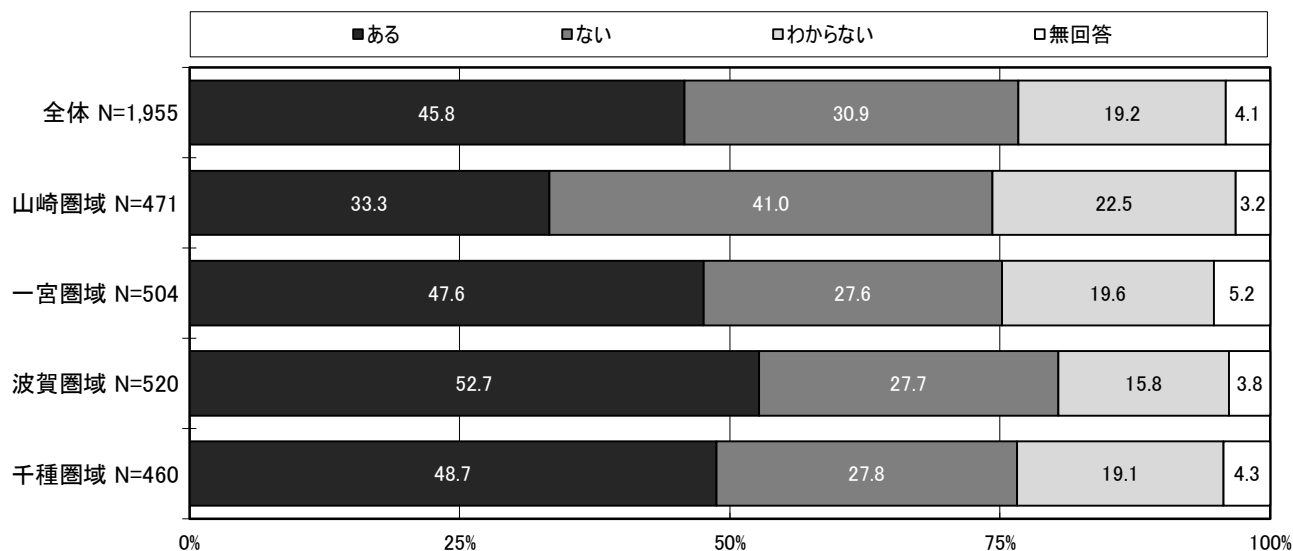
《誰が見守りや声かけを行っていますか》×《地区別》

『一宮圏域』では「自治会の役員」「近隣（ご近所づきあい）」、『波賀圏域』では「自治会の福祉委員」「近隣（近所づきあい）」の割合が他の地区と比べ高くなっています。

	全体 N=949	山崎圏域 N=178	一宮圏域 N=227	波賀圏域 N=296	千種圏域 N=248
自治会の役員	21.5	18.5	26.4	21.3	19.4
自治会の福祉委員	20.9	15.2	19.8	29.4	15.7
民生委員や民生協力委員	50.4	48.3	43.6	53.0	54.8
近隣(ご近所づきあい)	63.8	61.2	66.1	66.2	60.5
その他	7.4	7.3	10.1	6.1	6.5
無回答	2.4	2.8	2.2	1.7	3.2

《地域の人が気軽に集まる機会がありますか》×《地域別》

『波賀圏域』では「ある」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



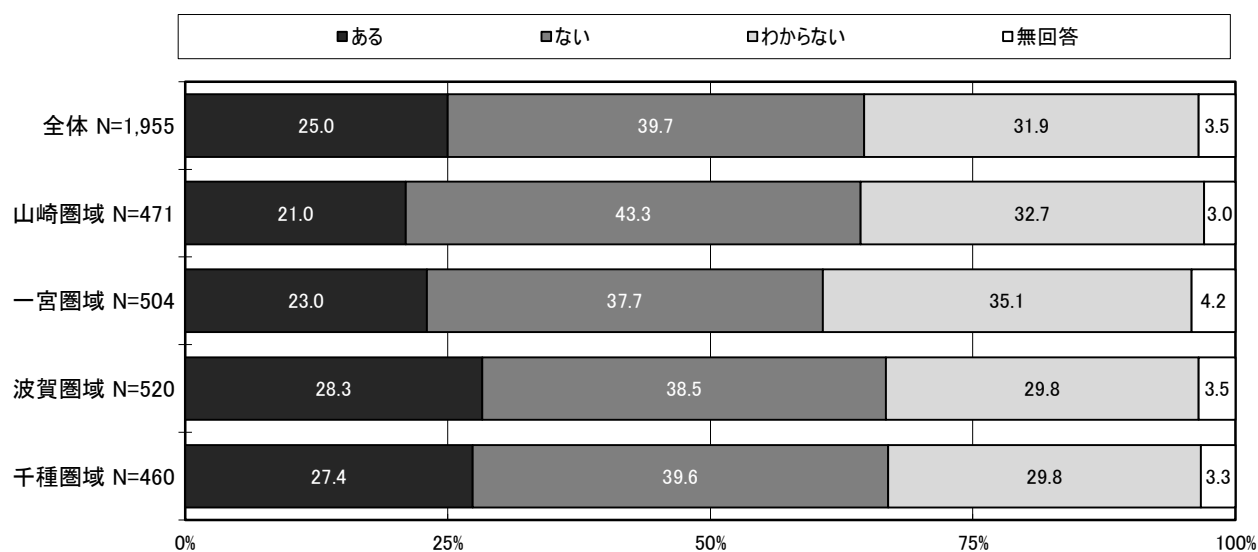
《集まる場所はどこですか》×《地域別》

『波賀圏域』では「近所のお家」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

	全体 N=895	山崎圏域 N=157	一宮圏域 N=240	波賀圏域 N=274	千種圏域 N=224
公民館・集会所	77.2	75.2	80.8	74.1	78.6
近所のお家	32.3	28.7	29.2	39.4	29.5
喫茶店	10.3	12.7	15.4	5.5	8.9
その他	7.5	7.0	6.3	8.8	7.6
無回答	1.0	0.6	0.8	0.7	1.8

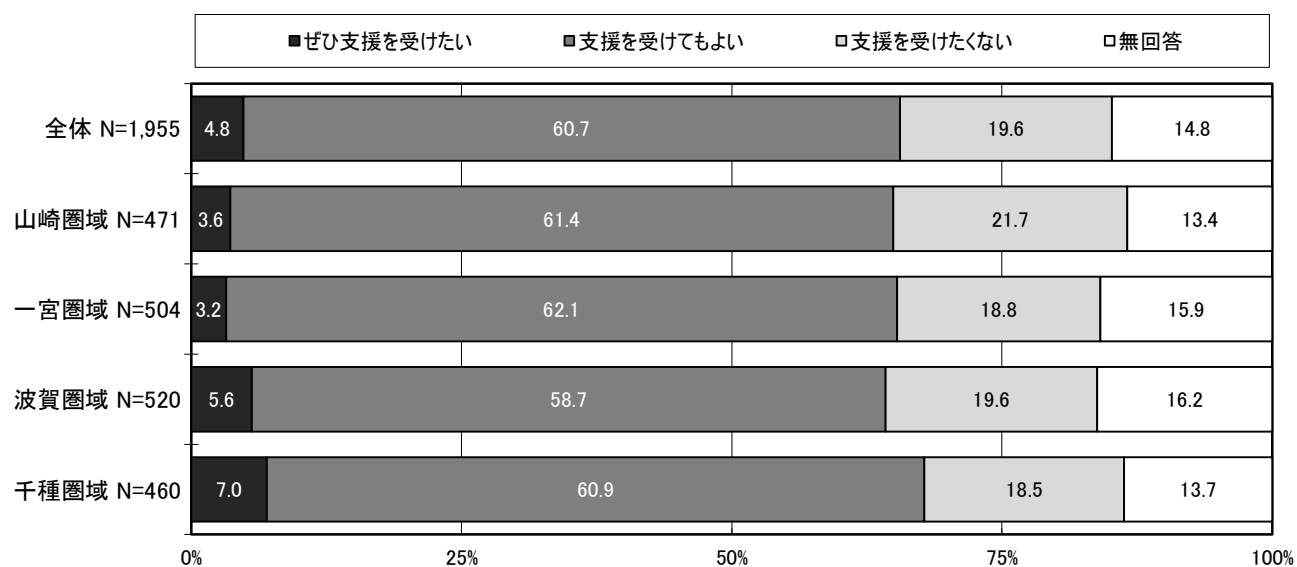
(4) 千種圏域

《あなたのご近所で日常生活の困りごとのお手伝いをする“支え合い”はありますか》×《地区別》



《支援を受ける側として》×《地区別》

『千種圏域』では「ぜひ支援を受けたい」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



「収入のある仕事」にそれぞれどのくらいの頻度で参加していますか》×《地区別》

『千種圏域』では、一宮圏域と同じく参加頻度が高くなっています。

